

# 取扱説明書

## エバラ超微細粉塵用定置式集塵機

### E J D 4 0 F 型

#### 目次

● はじめに	1
● 安全上のご注意	2
危険	2
警告	2
注意	3
● 留意事項	3
● 仕様及び構造・名称	4、5
● 日常点検	
運転準備	6
運転の仕方	6、7、8
停止の仕方	8
● ファン停止中の脱塵作業	8
● メンテナンスについて	8、9、10、11
● 使用中に不具合が発生した場合	12
● 電気回路図	13、14、15
● 内蔵機器取扱説明書（抜粋資料）	16以降

このたびはエバラ定置式集塵機をお買あげいただき誠にありがとうございます。当社では、この製品を安心して、ご使用いただけますよう細心の注意をはらって製作しておりますが、その取扱いを誤りますと思わぬ事故を引き起こすこともありますので、この取扱説明書にしたがい正しくご使用くださいますよう御願いたします。

- 取扱説明書は必ずお読みになって、ご使用中はいつでも確認できるよう本体の近くに必ず保管してください。
- 取扱説明書は製品の安全操作に関するためのものです。思わぬ人身事故や火災等の事故を防止するため、本文の警告事項は必ず守ってください。
- 本取扱説明書に記載した範囲外でご使用の場合は、弊社までご相談ください。

---

#### はじめに

集塵機がお手元に届きましたら、すぐに次の点をお調べください。

- (1) ご注文通りのものか、どうか銘板を見てご確認ください。
- (2) 搬送中の事故で破損箇所がないかどうか、ボルトやナットがゆるんでいないかどうかご確認ください。
- (3) 付属品がすべてそろっているかどうかご確認ください。

万一不具合な点がありましたら銘板記載事項を明示してご注文先までご照会ください。

# 安全上のご注意

(重要事項ですので必ずお守りください。)

- お守りいただかなければならない内容を下記の絵表示で区分しています。  
誤ったご使用は絶対になさらないでください。



この表示はしてはいけないこと  
を意味しております。



この表示は守らなければなら  
ないことを意味しております。

## 絵表示について

- この取扱説明書及び本体には、安全にご使用いただくため、いろいろな絵表示を使っております。お使いになる人や他の人への損害を未然に防止するため、その絵表示の意味を十分にご理解のうえ、ご使用願います。
- 絵表示は表示内容を見逃した使い方をしたときに発生する危害や損害の程度を説明しております。



### 危険

この表示の欄は「死亡または  
重傷を負う危険がある」内容  
です。



### 警告

この表示の欄は「死亡または  
重傷を負う可能性が想定され  
る」内容です。



### 注意

この表示の欄は「障害を負う  
可能性または物的損害のみが  
発生する可能性が想定され  
る」内容です。



### 危険

火災、爆発事故の原因となりますので  
次のものは絶対に吸引させないでください。

下記の粉塵爆発がある粉塵には、使用できません。

- アルミニウム、マグネシウム、チタン、アルミニウムブロンズなどの爆発性粉塵。
- 亜鉛、コークス、カーボンブラック、砂糖、ゴム、小麦、硫黄、ココア、染料、ポリエチレン、米ぬか、フェノール樹脂、とうもろこしなどの可燃性粉塵。
- ガソリン、シンナー、灯油などの引火しやすいもの（第一、第二石油類）



### 警告

- 本製品は乾燥粉塵対象です。ヒューム・ミスト・ガスや水・油などの液体、引火性物質・爆発性物質を吸引すると故障、事故の原因となります。
- サンダー、グラインダー、溶接から出る火花を含んだ粉塵は直接吸引しないでください。火災の原因となります。
- 集塵機の付近には可燃物を置かないでください。  
火災の原因となります。
- ガソリンやシンナーなどの可燃物置き場の近くには設置しないでください。  
火災の原因となります。
- ! 万一集塵機に何らかの不具合、故障が生じた場合には直ちにスイッチを切り、使用を中止してください。
- ! 焼け焦げた匂や煙が発生したら、すぐスイッチを切り、使用を止めること。  
火災の原因となります。
- ファンの回転部に手や物を絶対に入れないこと。  
人身事故や破損及び故障の原因となります。

## ⚠ 注意

- ⊘ 本製品は乾燥粉塵対象です。ヒューム・ミスト・ガスや水・油などの液体、引火性物質・爆発性物質を吸引すると故障、事故の原因となります。
- ❗ 屋内に設置してください。  
屋外で使用される場合は別途対策が必要となります。
- ❗ 水平で平坦な場所に設置してください。  
不安定な場所に設置しますと、振動や故障の原因となります。
- ❗ お手入れの際は各スイッチを切り、ファンが完全に止まってから行ってください。  
ケガの恐れがあります。安全のため保護メガネとゴム手袋を着用してください。
- ❗ フィルターは正しくセットされているか、また破損がないか確認してください。フィルターが外れていたり、破損の状態のまま使用しますとファン破損の原因となります。
- ❗ 必ずフィルターを取付けた状態で運転してください。  
フィルターなしで運転しますと、ファン及びモーター破損の原因となります。
- ❗ 脱塵しやすく、粉塵排出のしやすい方向に設置してください。
- ⊘ 薬品などがフィルターに付着したとき、粘着または固着するものは、吸引しないでください。目詰まりや、故障、事故の原因となります。
- ❗ アース線は必ず接続して、漏電遮断器を必ず設置してください。アース線はガス管、避雷針、電話のアース線には接続しないでください。漏電のとき感電する恐れがあります。
- ❗ モーターは正回転（矢印の方向）でご使用ください。  
逆回転で使用しますと吸引力が低下し、ファン及びモーター破損の原因となります。
- ❗ モーター出力に対して適切な電線の太さをご使用ください。
- ⊘ 本機に張付してあるシールプレートは剥がさないでください。
- ❗ 許可なく機械の改造を行った場合は責任を負いません。  
移設で本機を移転する際、全体が重いので倒れないように運搬にはご注意ください。

## 留意事項

- 集塵機に溜まった粉塵は毎日、廃棄してください。（清掃の方法は、8頁「5. メンテナンスについて」を参照してください。）
- 修理は必ず、技術者にご相談ください。本製品の機能を損なうような改造は、絶対におやめください。
- 局所排気装置及び除塵装置の定期点検は労働安全衛生法より1年に1回以上と義務付けられております。
- アフターサービス、定期点検については、ご不明な点は弊社にご相談ください。

# 1. 仕様及び構造・名称

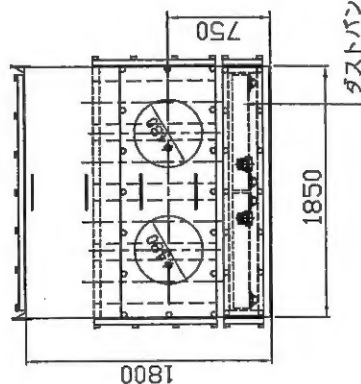
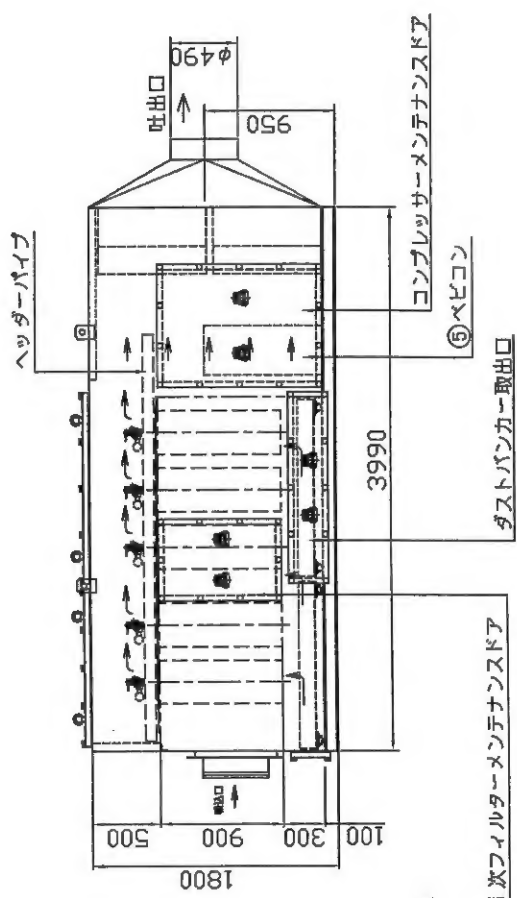
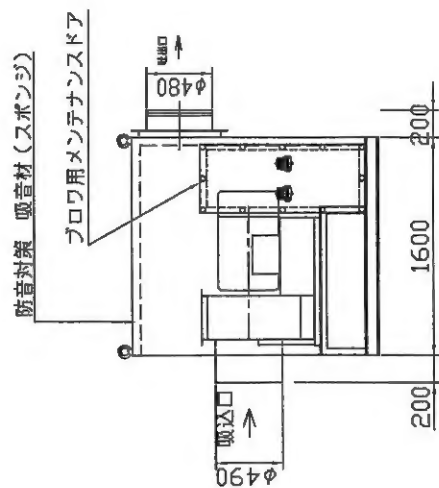
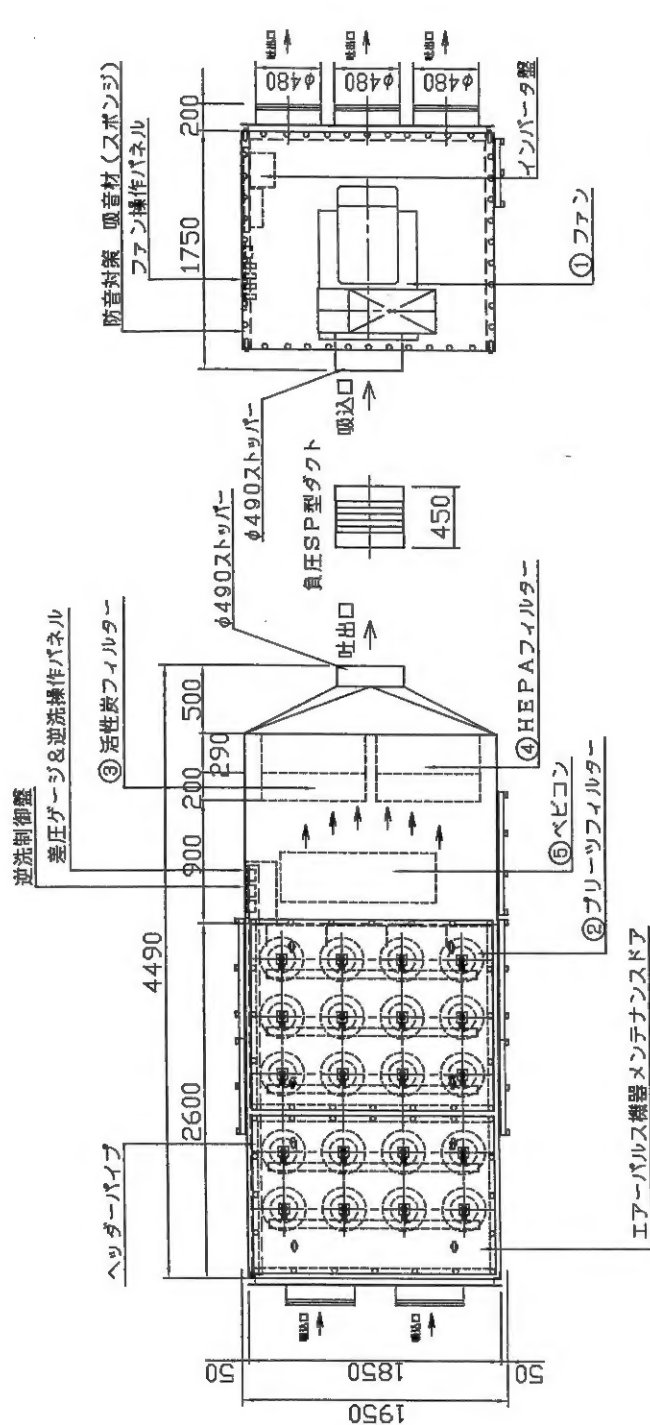
## 1-1 :仕様

名 称		仕 様
最大処理風量※1		400m <sup>3</sup> /min
運転・起動方法		インバータ制御運転方式
風量制御方式		インバータ手動風量制御方式
①	ファン	型式 : SMP30L-2P-No3 30KW/200V 仕様 : 300m <sup>3</sup> /min・at 3.0KPa 250m <sup>3</sup> /min・at 4.0KPa
②	1次フィルター (プリーツフィルター)	ろ過精度 : 0.3μm×99% ろ過面積 : 12m <sup>2</sup> /個×20個=240m <sup>2</sup> 素材 : ポリエステル 寸法 : φ320mm×L900mm/個 員数 : 20個 再生方式 : エアーパルス自動再生方式
③	活性炭フィルター	活性炭 : フェルト状活性炭 処理風量 : 75m <sup>3</sup> /min/個×4個 吸着面積 : 2.2m <sup>2</sup> /個×4個=8.8m <sup>2</sup> 寸法 : W760mm×H790mm×D200mm/個 員数 : 4個
④	HEPAフィルター※2	ろ過精度 : 0.3μm×99.97% 処理風量 : 50m <sup>3</sup> /min/個×8個 素材 : グラスペーパー 寸法 : W755mm×H392mm×D292mm/個 員数 : 8個
⑤	ベビコン	吐出空気量 : 240リットル/min 吐出圧力 : 0.69MPa 出力 : 2.2KW
⑥	レシーバタンク	全容量 : 80リットル 使用圧力 : 0.93MPa

※1 ファン運転周波数は60Hz時の風量です。  
フィルターの仕様及び状況により異なります。

※2 メーカー標準付属外

# 1-2 : 構造及び名称

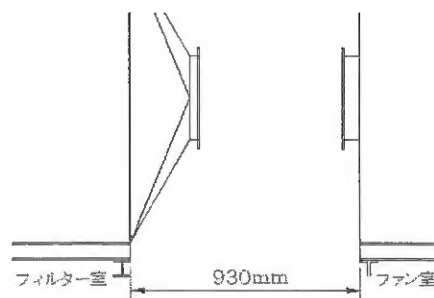


フィルター装置設計重量 : 2,800Kg  
 ファン装置設計重量 : 1,100Kg  
 設計総重量 : 3,900Kg

## 2. 運転準備

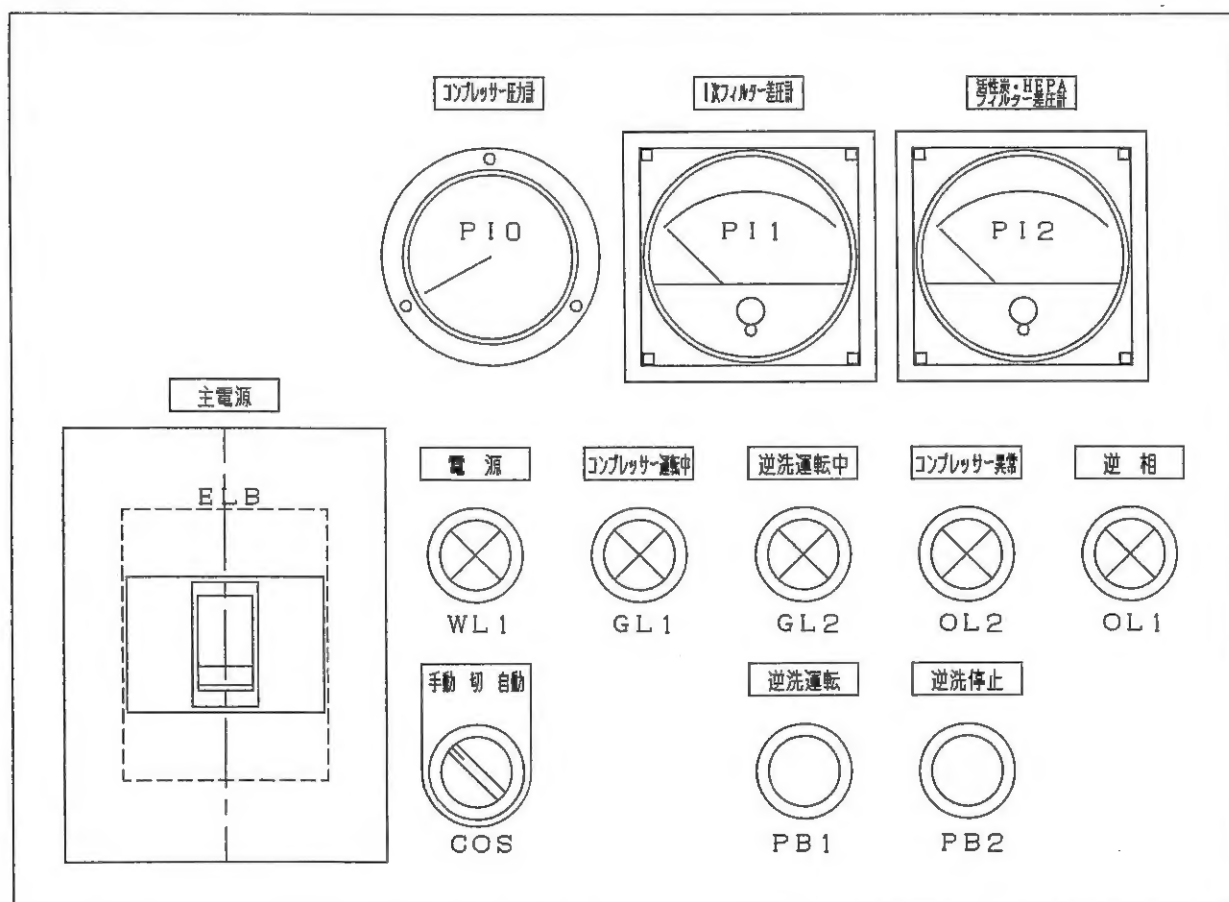
### 1. 設置場所について

集塵機本体は水平に設置して下さい。傾斜した場所では振動などにより移動する恐れがあります。  
ファン室とフィルター室の設置間隔は、ベース間隔を約930mmにして設置して下さい。

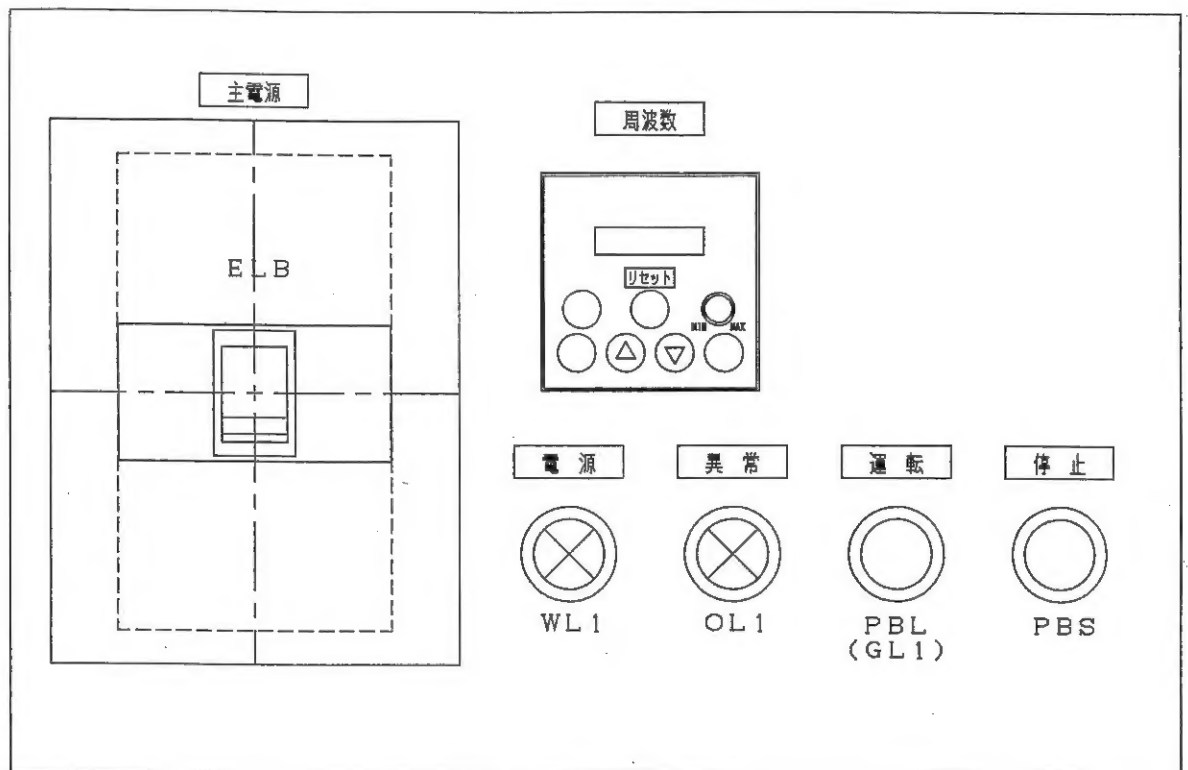


2. 本体を吊り上げる場合は、上部の吊りフックを利用して、重量に対して十分な強度を持ったワイヤーでバランス良く吊り上げて下さい。
3. 1次側電源ケーブルは電気容量に対して十分に余裕のあるものにして、ファン室の電源用端子に接続して下さい。  
アース線は必ず接続して下さい。
4. ファン室側の電源用端子とフィルター室側の電源用端子を電源ケーブルで接続して下さい。※ケーブルは“2sq以上×4c（アース線含む）”。
5. ファン室側の連動用端子とフィルター室側の連動用端子を連動運動用ケーブルで接続して下さい。※ケーブルは“1.25sq以上×2c”。

## 3. 運転の仕方



フィルター操作パネル図



ファン操作パネル図

1. 1次側電源を投入して下さい。

…… ファン操作パネルとフィルター操作パネルの電源ランプが点灯します。

2. ファン操作パネルとフィルター操作パネルの電源のブレーカーを入れて下さい。

※フィルター操作パネルには、逆相防止リレーが内蔵されています。

1次側配線が逆相の場合には、逆相ランプが点灯します。

この場合には、1次側の配線で相入れ替えを実施して下さい。

3. フィルター操作パネルの“手動—切—自動”切替スイッチを“自動”に設定して下さい。※ファンのON・OFFと連動し自動逆洗運転をします。

4. 吸込口、吐出口周辺を確認し、ファン操作パネルの運転ボタンを押して下さい。

①ファン操作パネルの緑色の運転ランプが点灯します。

・ファンが起動してゆっくりと回転数をあげて設定された周波数運転に入ります。

※ファンの運転周波数は、20～60Hzの範囲で設定出来ます。

周波数の調整はファン操作パネルの周波数調整つまみで行って下さい。

②フィルター操作パネルのコンプレッサー運転ランプが点灯し、4分後に逆洗運転ランプが点灯します。

・フィルター室内に内蔵されているコンプレッサーが起動します。

- ・その4分後パルスジェット方式による自動脱塵を開始します。
- ・パルスジェットの基本脱塵間隔は18秒に設定されております。

コンプレッサーの圧力は、0.7kPa～0.9kPaの範囲で自動脱塵します。

※パルスジェットの脱塵間隔の設定変更は、パルスコントローラーの基板の取扱説明書を参照して下さい。

## 4. 停止の仕方

- ①ファン操作パネルの停止ボタンを押して下さい。

…… 運転ボタンの緑色のランプが消灯します。

- ・ファンはフリーラン後に停止します。

- ②フィルターユニットは約20分間逆洗運転をし、自動停止します。

…… コンプレッサー運転ランプと逆洗運転ランプが消灯します。

## 5. ファン停止中の脱塵作業

ファン停止時のフィルターの脱塵作業は下記の要領で実施して下さい。

- ①フィルター操作パネルの“手動－切－自動”切替スイッチを“手動”に設定して下さい。

- ②逆洗運転ボタンを押して下さい。

…… コンプレッサーが起動してコンプレッサー運転ランプが点灯します。

- ③4分後に脱塵作業を実施します。

…… 逆洗運転ランプが点灯します。

※逆洗作業を停止する場合は“逆洗停止ボタン”を押して下さい。

…… コンプレッサーが停止して、“コンプレッサー運転ランプ”と“逆洗運転ランプ”が消灯します。

## 6. メンテナンスについて

### ※ご使用上の注意

安全のため電源は必ず切ってから実施して下さい。

ダストの回収、フィルターの交換等の保守点検には、ダストの性状によっては、保護具の着用等が義務付けられている場合があります。法令に従って行って下さい。



## 1. ダストバンカーの粉塵回収

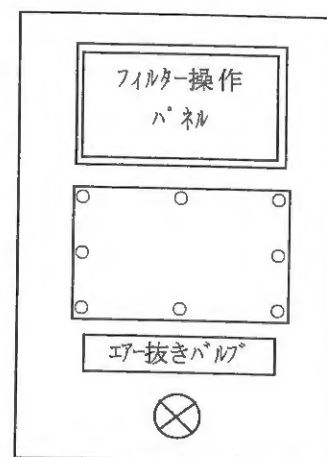
ファン及びファルター逆洗停止時にダストバンカー取り出し用ドアを開けて本体内のダストバンカーを取り出し溜まった粉塵を回収して下さい。

## 2. 1次フィルターの清掃・脱着の仕方

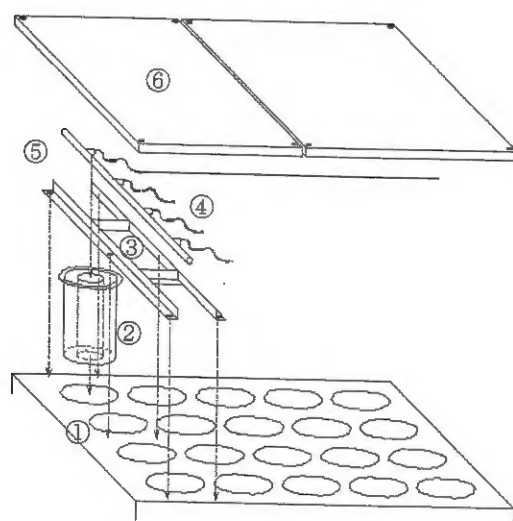
### ※作業上の注意

- ・フィルター操作パネル下の“エア抜きバルブ”を開いて残圧を抜いて、コンプレッサー圧力計の指示が“0 MPa”であることを確認してから作業を開始して下さい。

通常運転時では、フィルター操作パネルの逆洗運転時に自動脱塵操作を繰り返し吸引風量を持続させながら運転が出来ます。フィルター清掃の目安としては、1次フィルター差圧が“2.5 kPa”に達し、吸引風量が弱くなったら、1次フィルターを取り出して点検清掃する必要があります。



### 2-1 : 1次フィルターの取り外し方



- ① フィルター受台
- ② フィルター
- ③ フィルター固定金具
- ④ 洗浄バルブ用配線
- ⑤ 洗浄パルス用ヘッダーパイプ
- ⑥ 上蓋

1. 本体の上蓋⑥を取り外します。
2. 洗浄パルス用ベッターパイプ⑤は固定しているジョイント及び固定ボルトを外して取り出します。
3. 洗浄バルブ用配線④はコネクターを外して取り出します。
4. フィルター固定金具③はボルトを外して取り出します。
5. フィルター本体②を傷つけないように取り出して下さい。

## 2-2 : 1次フィルターの清掃の仕方

フィルターを清掃する場合は、表面を傷つけないように柔らかい材質のブラシ等で軽くブラッシングしながら汚れを落として下さい。

また、水洗浄をする場合には完全に乾燥させてから再使用して下さい。

## 2-3 : 1次フィルターの取り付け方

取り付けは、前記と逆の手順で行って下さい。

※1次フィルターは、1回/月 目詰まり、破損の有無を確認して下さい。

目詰まりや破損がありましたら交換して下さい。

## 3. 2次・3次フィルターの取り外し方

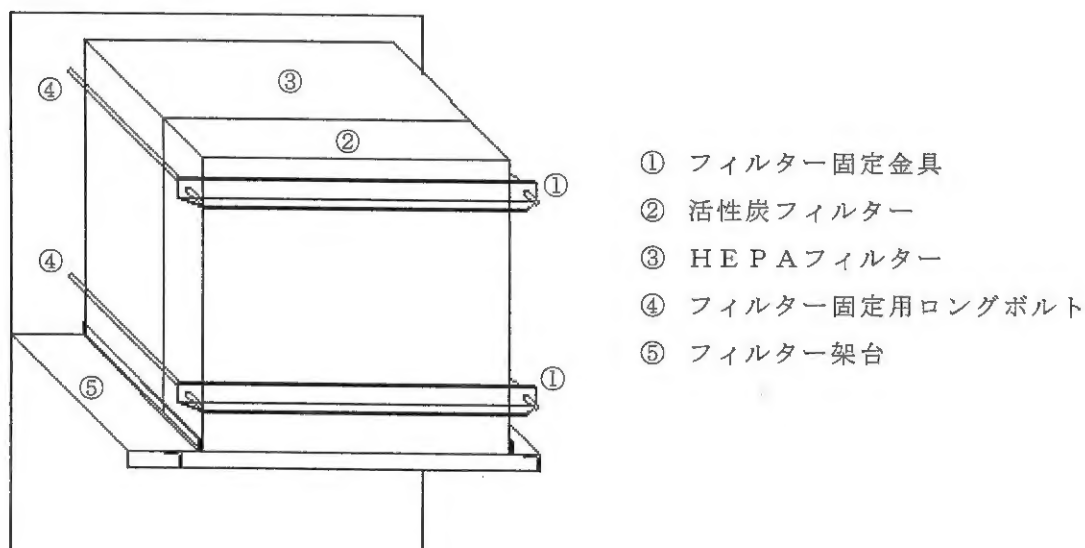
超微細粉塵対策として、2次フィルター（活性炭フィルター）と3次フィルター（H E P Aフィルター）が取り付けられています。

両フィルターとも清掃等により再生できません。

両フィルターともに段々と目詰まりして行きます。使用限界が来たら交換して下さい。

交換時期は、活性炭・H E P Aフィルターの差圧“1. 0 k P a”が目安となります。

### 3-1 : フィルターの取り外し方



コンプレッサーメンテナンスドアを開けてフィルター室内へ入って交換します。

1. フィルター固定金具①を固定ボルトのネジを緩めて外して下さい。

2. 活性炭フィルター②、H E P Aフィルター③の順に取り外して下さい。

### 3-2 : フィルターの取り付け方

前記の逆の手順で行って下さい。

特に、H E P Aフィルターは精密なフィルターなので、ろ材を傷付けたり破ったりしないように十分注意して取り扱って下さい。

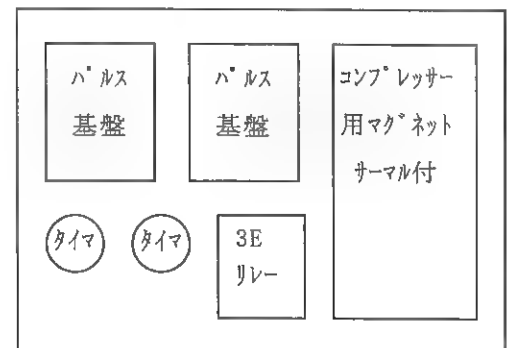
### 4. コンプレッサーのサーマル保護について

コンプレッサーが過負荷によりサーマルトリップすると、フィルター操作パネルのコンプレッサー異常ランプが点灯して停止します。

この時、自動逆洗機能も停止します。

フィルター操作パネル下の蓋を開けてサーマルを復帰させて下さい。

原因を解消してから再運転して下さい。



### 5. 逆洗コントローラーパネル基板の調整について

フィルター操作パネル下の蓋を開けて、基板上のスイッチにて調整します。

付属資料のコントローラー取扱説明書を参照して下さい。

※逆洗の間隔やON・OFF時間は、コンプレッサー圧力が0.7 k P a 以下に下がらない範囲で調整して下さい。

コンプレッサー圧力が下がり過ぎると逆洗効果が低下します。

## 7. 使用中に不具合が発生した場合

万一集塵機に何らかの故障が生じた場合には、直ちに電源スイッチを切り、使用を中止して下さい。

状況	原因	処置
送風機が動かない。	1. 電源がきていない。 2. インバーターの保護回路が動作した。	1. 電源を入れて下さい。 2. 保護機能を操作盤の表示パネルで確認して下さい。 保護内容を確認したら原因を解消してから、リセットして再起動して下さい。
送風機が停止した。	1. 電源が切れた。 2. インバーターの保護回路が動作した。	1. 電源側の断線等をチェックして下さい。 2. 保護機能を操作盤の表示パネルで確認して下さい。 保護内容を確認したら原因を解消してから、リセットして再起動して下さい。
吸込力が弱い。	1. フィルターが目詰まりしている。 2. 大きなゴミが入った。 3. フィルターの汚れが酷く粉塵が落ちなくなった。	1. 1次フィルターを払い落としして下さい。 2, 3次フィルターは交換して下さい。 2. ドアを開いて取り除いてく下さい。 3. フィルターを交換して下さい。
排気口より粉塵が漏れる。	1. フィルターの取付け状態が悪い。 2. フィルターが破損している。	1. フィルターの取付け状態確認して下さい。 2. フィルターを交換して下さい。

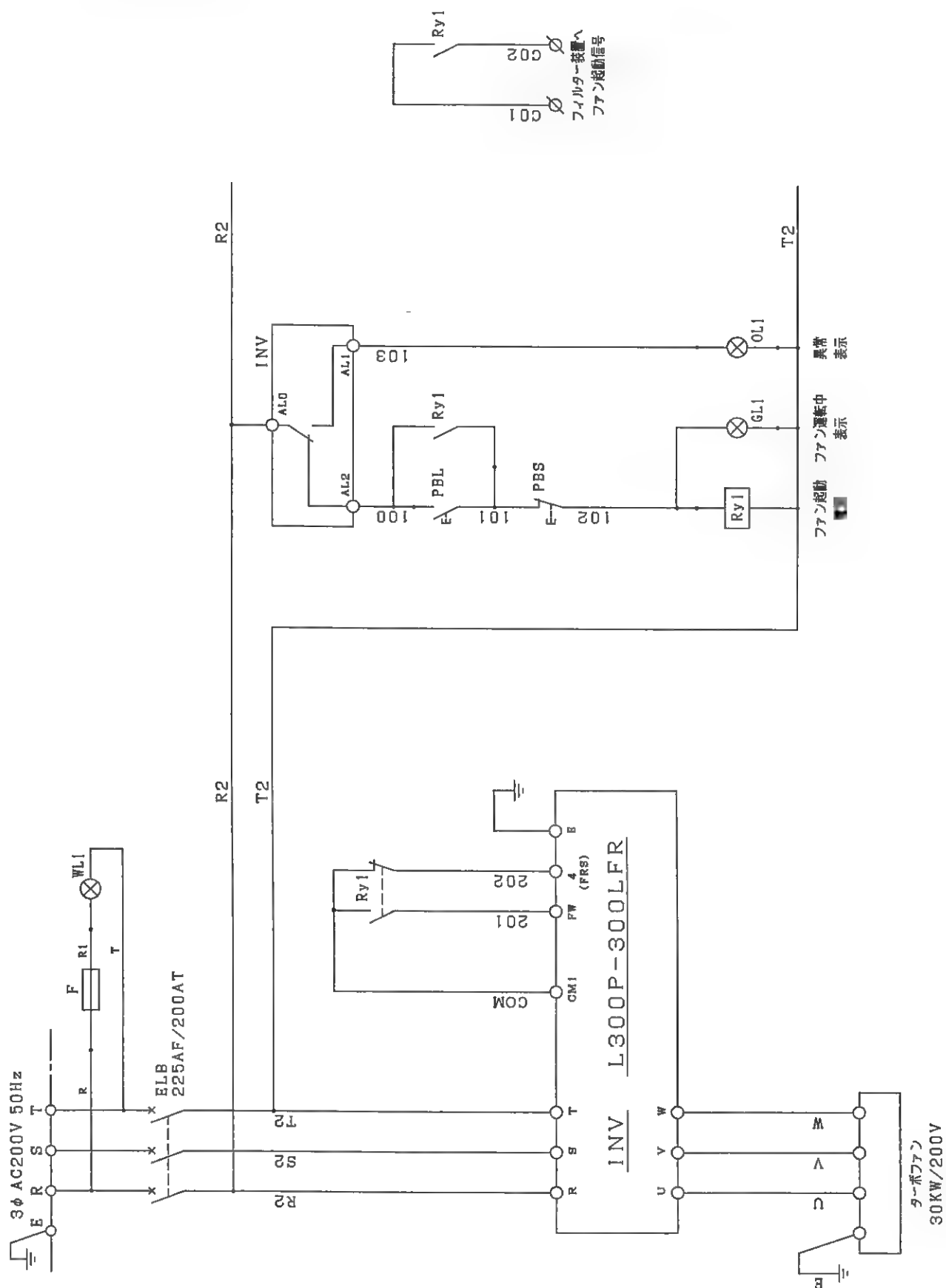
※インバーター保護機能の確認と内容及び推定原因は別紙のインバーター保護機能一覧表を参照して下さい。

## 8. 電気回路図

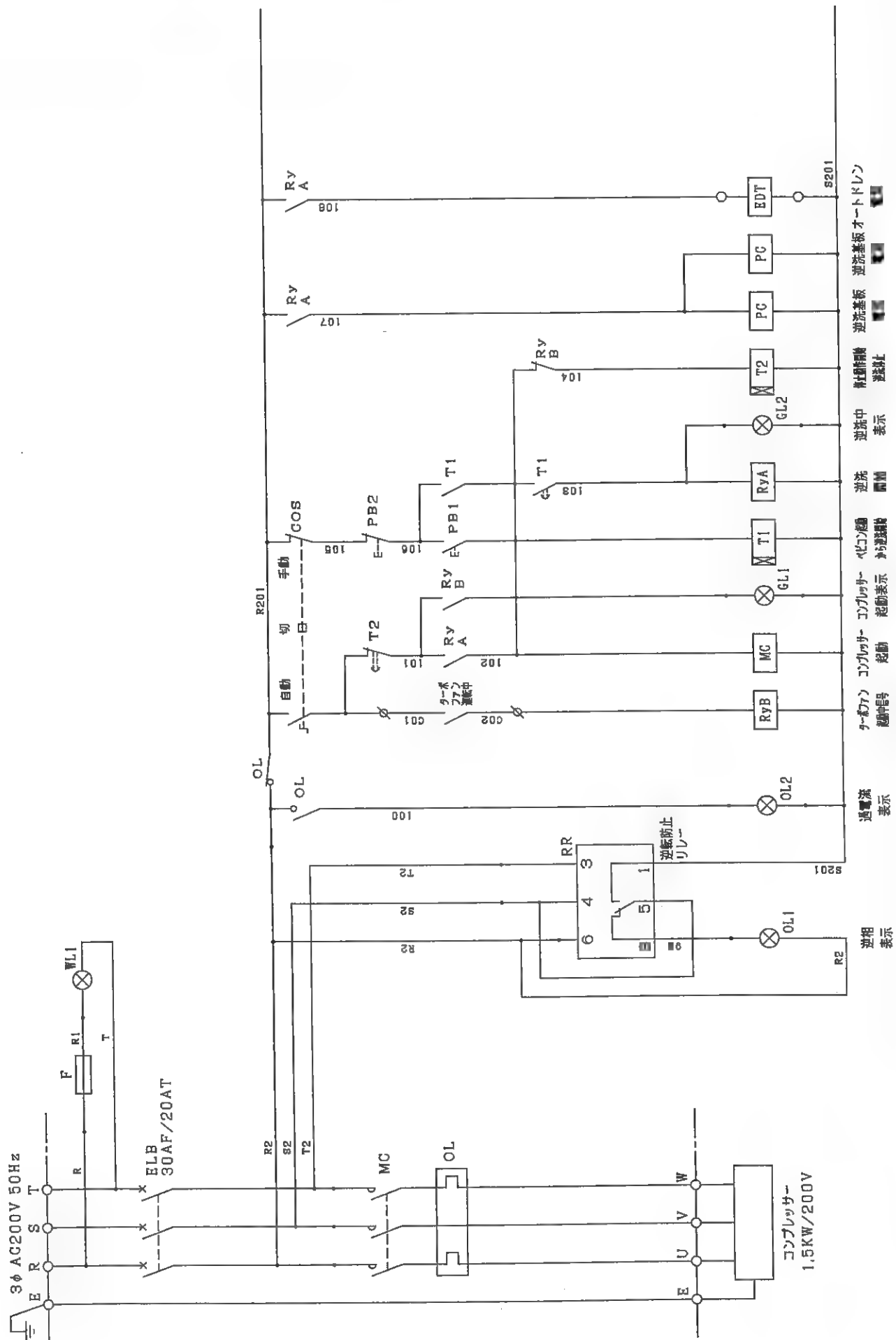
1・ファン装置操作回路図

2. フィルター装置操作回路図

# 1. ファン装置操作回路図



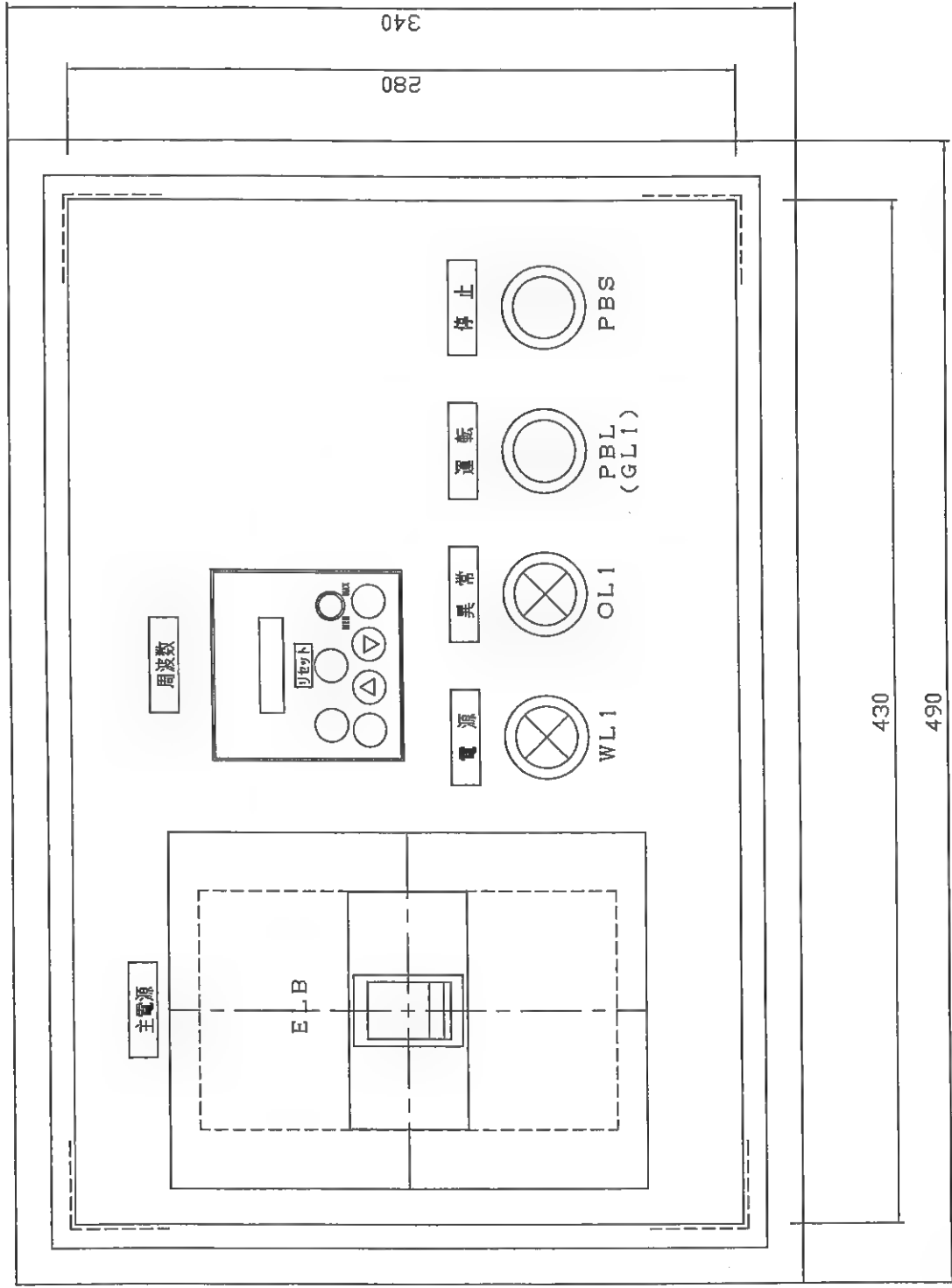
## 2. フィルター装置操作回路図



## 9. 付属資料

1. V X F C コントローラー取扱説明書
2. ファン取扱説明書
3. インバーター保護回路一覧表と保守点検事項
4. コンプレッサー取扱説明書
5. 減圧弁取扱説明書
6. オートドレントラップ取扱説明書
7. 1 次フィルター仕様図
8. 活性炭フィルター仕様図
9. H E P A フィルター仕様図





SPECIFICATIONS FOR		TITLE		REV.		NO.		NOTE		DRAWN BY		DESIGNED		SCALE		DATE		DWG. NO		CHECKED		APPROVED		06122201	
CUSTOMER		ファン装置操作パネル図																							







日立可変速ドライブ



# 日立インバータ

## L300Pシリーズ

### 取扱説明書

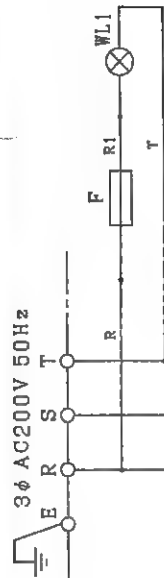
このたび“日立インバータ”をご購入いただきましてありがとうございます。  
この説明書は、“L300Pシリーズ”の取扱いについて述べたものです。  
インバータ本体の取扱説明書と合わせてご熟読の上、据付け、保守、点検など  
にご活用ください。ご使用後は大切に保管ください。  
なお、本取扱説明書は、最終需要家まで必ず届くようご配慮お願いします。

この「取扱説明書」を読み大切に保存してください。

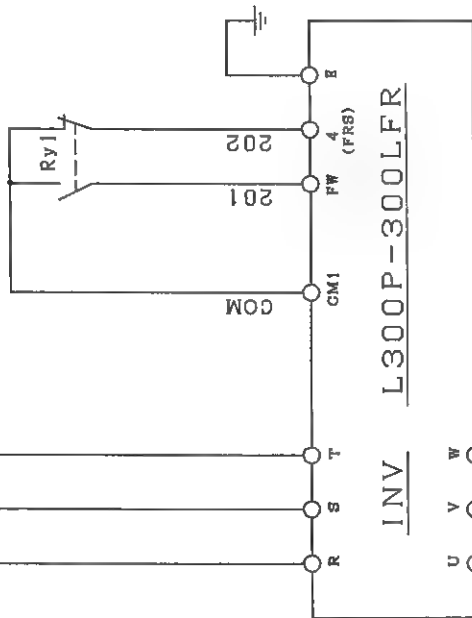
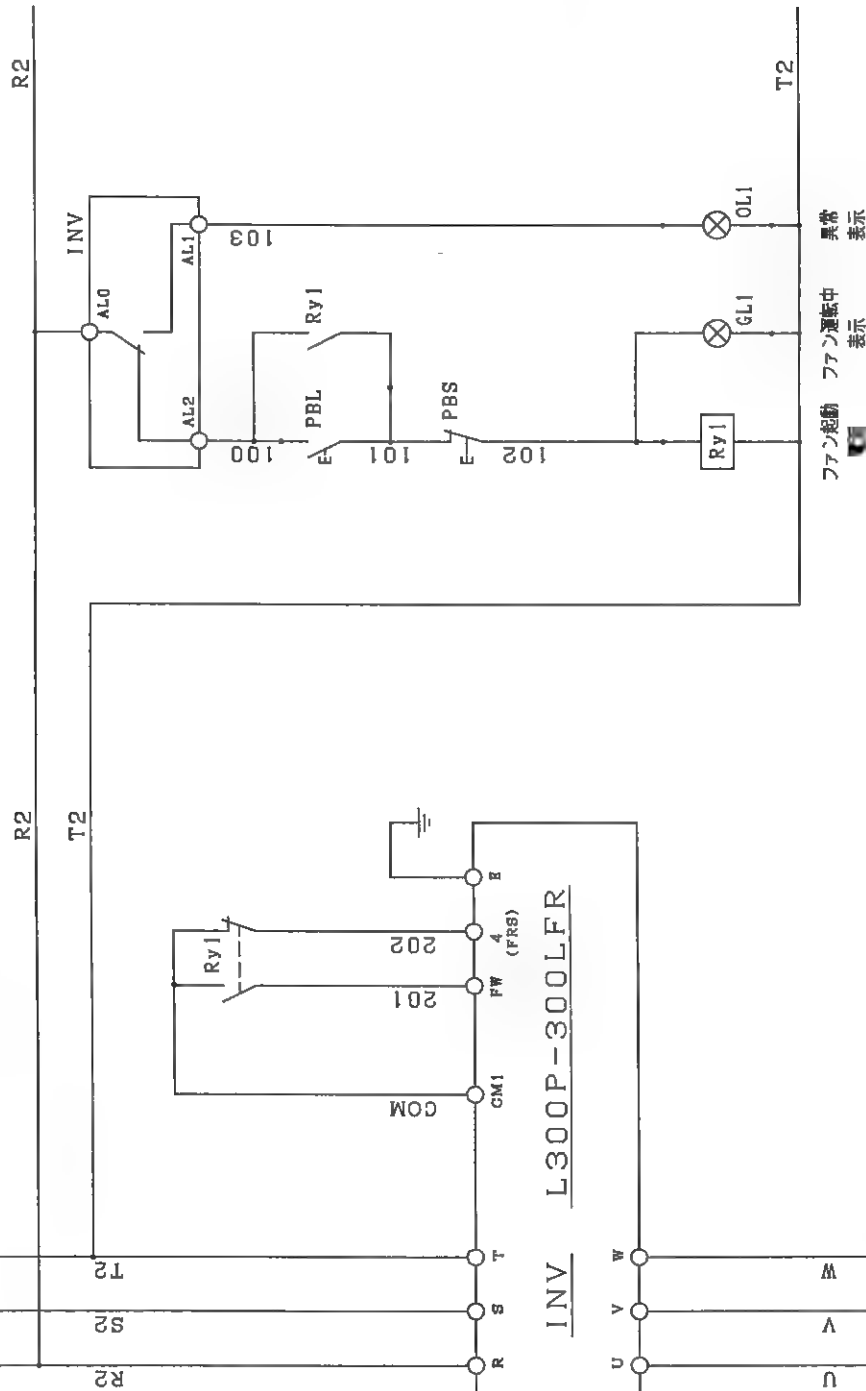
# HITACHI

NB601G

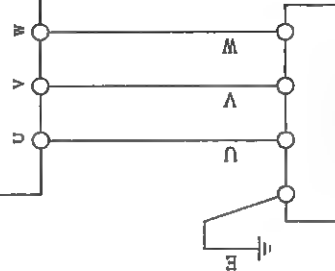
3φ AC200V 50Hz



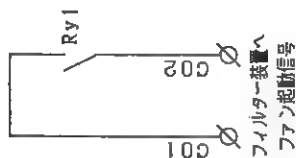
ELB  
225AF/200AT



INV L300P-300LFR



ターボファン  
30KW/200V



ファン起動 ファン運転中 異常表示

SPECIFICATIONS FOR

CUSTOMER

JOB NO.

TITLE

ファン装置操作回路図

荏原機電株式会社

DRAWN BY SOALE DATE

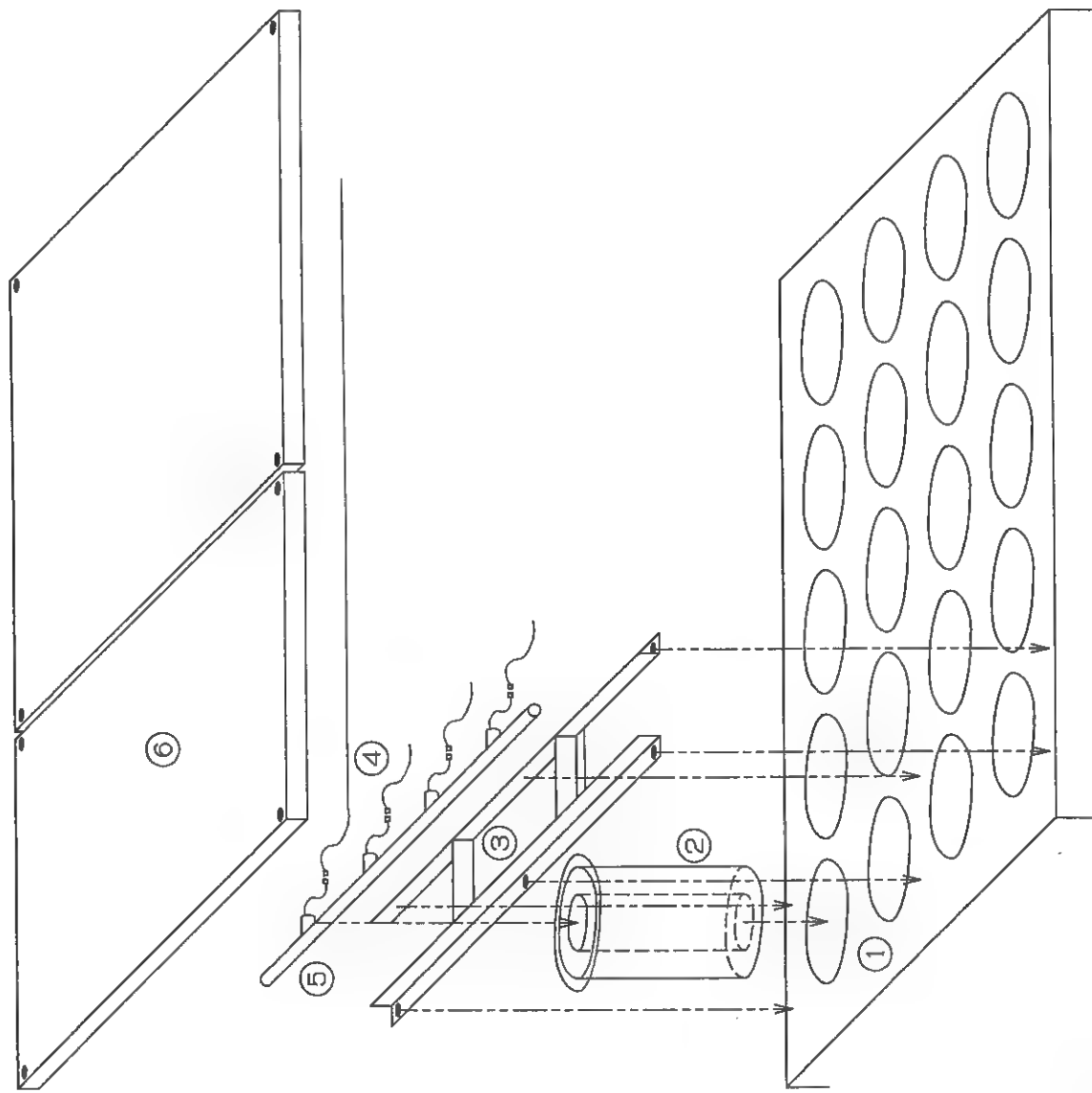
DESIGNED

CHECKED

APPROVED

OWG. NO

06122204



- ① フィルター受台
- ② フィルター
- ③ フィルター固定金具
- ④ 洗淨バルブ用配線
- ⑤ 洗淨バルブス用ヘッダーパイプ
- ⑥ 上蓋

SPECIFICATIONS FOR		TITLE		REV. NO.		NOTE		DRAWN BY		SCALE		DATE	
CUSTOMER		超微細粉塵対策型集塵機						K. TERAO					
JOB NO.		取説用図面3						DESIGNED					
								CHECKED					
								APPROVED					
								M. IGARASHI					
								Y. KAKUDA					
								DOG. NO				06111702	

荏原機電株式会社

## 4.4 保護機能一覧

## 4.4.1 保護機能

名 称	内 容	デジタルオハレータ の表示	リモートオハレータの表示
過電流保護	モートルが拘束されたり、急加減速するとインバータに大きな電流が流れ、故障の原因となります。 この為、電流保護回路が動作して、インバータの出力を遮断します。	定速時 <b>E01.0</b>	<b>ERR1***</b> OC. Drive
		減速時 <b>E02.0</b>	OC. Decel
		加速時 <b>E03.0</b>	OC. Accel
		その他 <b>E04.0</b>	Over. C
過負荷保護 注1)	インバータの出力電流を検出し、モートルが過負荷になった場合は、インバータ内蔵の電子サーマルが検知して、インバータの出力を遮断します。	<b>E05.0</b>	Over. L
制動抵抗器過負荷保護	回生制動抵抗器の使用率を超えた場合、制御回路の動作停止によって過電圧になるのを検知し、インバータの出力を遮断します。	<b>E06.0</b>	OL. BRD
過電圧保護	モートルからの回生エネルギーおよび受電電圧が高い場合に、コンバータ部の電圧が規定以上に上昇すると、保護回路が働いてインバータの出力を遮断します。	<b>E07.0</b>	Over. V
EEPROMエラー 注2)	外來ノイズ、異常温度上昇などの原因で、インバータ内蔵のEEPROMに異常が発生した時に、出力を遮断します。	<b>E08.0</b>	EEPROM
不足電圧	インバータ受電電圧が下がると、制御回路が正常に機能しなくなる為、受電電圧が規定電圧以下になると、出力を遮断します。	<b>E09.0</b>	Under. V
CTエラー	インバータに内蔵しているCT(電流検出器)に異常が発生した時、出力を遮断します。	<b>E10.0</b>	CT
CPUエラー	内蔵CPUが誤動作、異常が発生した時は、出力を遮断します。	<b>E11.0</b>	CPU
外部トリップ	外部機器、装置が異常が発生した時、インバータは、その信号を取り込み出力を遮断します。(外部トリップ機能選択時)	<b>E12.0</b>	EXTERNAL
USPエラー	インバータがRUN状態のままで電源ONした場合のエラー表示です。(USP機能選択時有効)	<b>E13.0</b>	USP
地絡保護	電源投入時、インバータの出力部とモートル■での地絡を検出して、インバータを保護します。	<b>E14.0</b>	GND. Flt
受電過電圧保護	受電電圧が仕様の値よりも高い時、電圧投入60秒後に検出し、出力を遮断します。	<b>E15.0</b>	OV. SRC
瞬時停電保護	15ms以上の瞬時停電が発生した時、出力を遮断し、瞬時遮断時間が長い場合、通常電源遮断と見なします。尚、再始動選択時は運転指令が残っている時に、再始動します。	<b>E16.0</b>	Inst. P-F
温度異常	冷却ファンの停止などにより、主回路部温度が上昇した場合、インバータの出力を遮断します。	<b>E21.0</b>	OH. FIN
ゲートアレイエラー	内蔵CPUとゲートアレイ間の通信動作で異常があった場合に表示されます。	<b>E23.0</b>	GA
欠相保護	入力欠相によるインバータの破損を防ぎます。	<b>E24.0</b>	PH. Fail
IGBTエラー	瞬時過電流が発生した場合、主素子保護の為、インバータの出力を遮断します。	<b>E30.0</b>	IGBT
サーミスタエラー	モートル内部のサーミスタの抵抗値を検出し、モートルの温度上昇があった場合、インバータの出力を遮断します。	<b>E35.0</b>	TH
オプション1エラー0~9	オプション基板1のエラーを検出します。詳細は、注3)または実装したオプション基板の取扱説明書を参照ください。	<b>E60.0 ~ E69.0</b>	OP1-0~9
オプション2エラー0~9	オプション基板2のエラーを検出します。詳細は、注3)または実装したオプション基板の取扱説明書を参照ください。	<b>E70.0 ~ E79.0</b>	OP2-0~9
不足電圧待機中	インバータの受電電圧が下がって、出力を遮断して待機している状態を示します。	----	UV. WAIT
通信エラー	オペレータとインバータ間で不具合が発生した場合に表示します。	----	R-ERROR COMM<2>

注1)トリップ発生後、約10秒経過するまではリセット動作を受付けません。

注2)EEPROMエラー **E08.0** 発生時は、再度設定データを確認してください。



## 注3) S J-DG、S J-DNのオプションエラー一覧

オプション基板をオプションポート1（オペレータ用コネクタ側）に取り付けた場合は、E6\*.□（OP1-\*）、オプションポート2（制御回路端子台側）に取り付けた場合は、E7\*.□（OP2-\*）と表示します。

## ①デジタルオプション基板（S J-DG）接続時のエラー表示

名 称	内 容	デジタルオプ・レータ の表示	リモートオプ・レータの表示 ERR1***
S J-DGエラー	インバータとデジタルオプション基板間の通信でタイムアウトが発生した場合に表示します。	E60.□, E70.□	OP1-0, OP2-0

## ②デバイスネットオプション基板（S J-DN）接続時のエラー表示

名 称	内 容	デジタルオプ・レータ の表示	リモートオプ・レータの表示 ERR1***
DeviceNet 通信エラー	DeviceNet 指令による運転時に Bus-Off などによるコネクション切断やタイムアウトが発生した場合に表示します。 (P045, P048 の設定によるトリップ)	E60.□, E70.□	OP1-0, OP2-0
重複 MACID	同一ネットワーク内に同一 MACID の機器が存在することを示します。	E61.□, E71.□	OP1-1, OP2-1
外部トリップ	Control Supervisor オブジェクトのインスタンス 1, アトリビュート 17 による Force Fault/Trip が 1 となった場合に表示します。	E62.□, E72.□	OP1-2, OP2-2
インバータ通信エラー	インバータとデバイスネットオプション基板間の通信でタイムアウトが発生した場合に表示します。	E69.□, E79.□	OP1-9, OP2-9

注4) オプション基板S J-DG、S J-DN接続時、正常に動作しない場合は各オプション基板上のディップスイッチ、ロータリスイッチを確認してください。（詳細は各オプション基板の取扱説明書をご覧ください。）

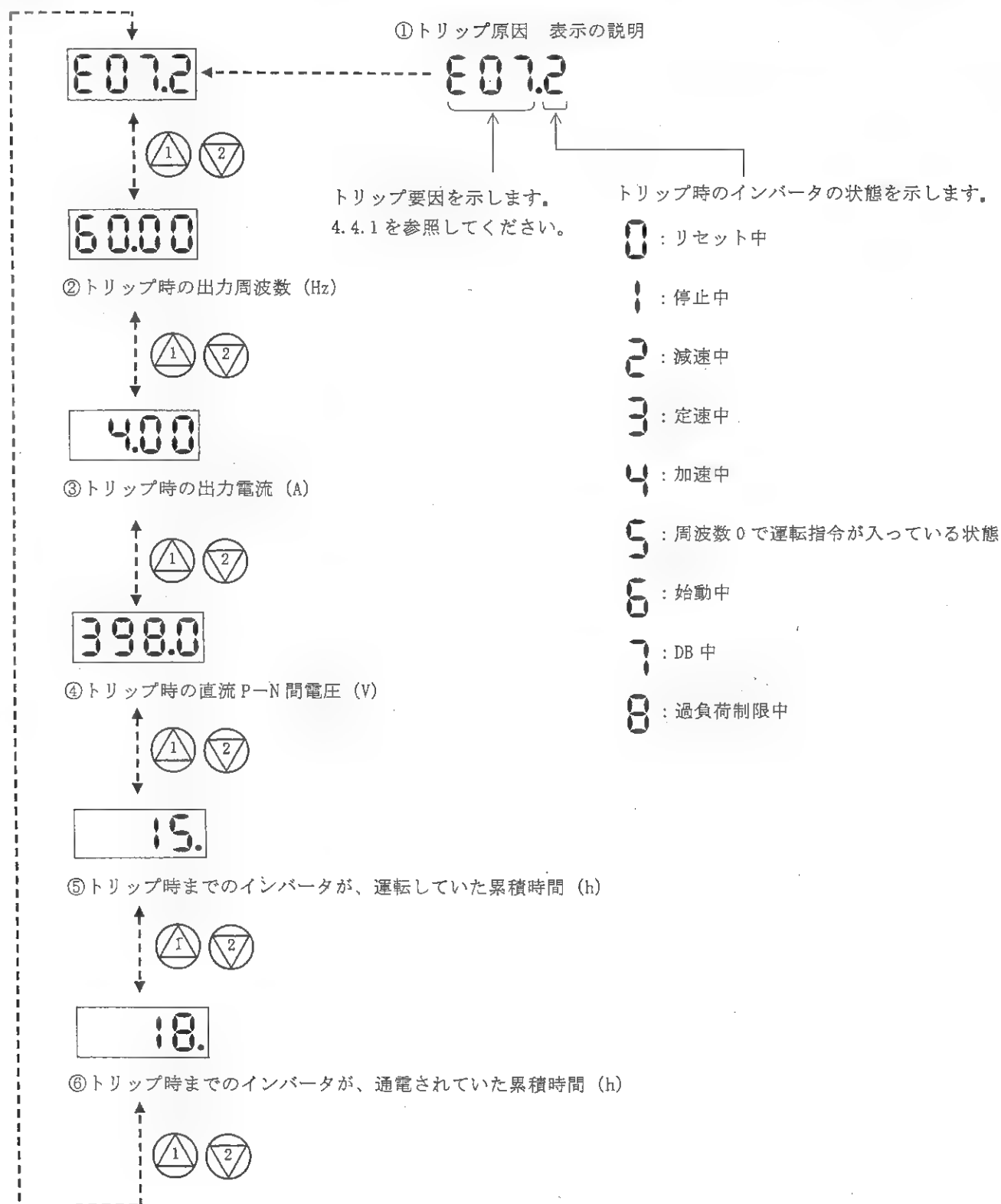
## ①デジタルオプション基板（S J-DG）

入力モードは、ディップスイッチおよび、ロータリスイッチの組み合わせによって決まります。

ディップ スイッチ		ロータリ スイッチ	設定周波数				加減速時間設定			トルク制限 設定	位置 設定	
TYPE		CODE	設定分解能									
スイッチ No.		設定 コード	0.01Hz	0.1Hz	1Hz	割合	0.01sec	0.1sec	1sec	1%	1pulse	
1	2											
BIN (OFF 時 バイパス入力) / BCD (ON 時 BCD 入力)	PAC (OFF 時 一括入力 モード)	0	○									
		1		○								
		2			○							
		3				○						
		4								○		
		5										
	DIV (ON 時 分割入力 モード)	6										○
		0						○				
		1	○						○			
		2								○		
		3						○				
		4		○					○			
		5								○		
		6						○			○	○
		7			○				○			
		8								○		
		9						○				
		A					○		○			
		B								○		

○：スイッチ設定により設定される入力モードを示します。

## 4.4.2 トリップモニタ表示



## 5.1 保守・点検の注意事項

### 5.1.1 日常点検

・基本的には、運転中に下記異常がないかチェックします。

- ① モートルが設定通りの動きをしているか。
- ② 設定場所の環境に異常はないか。
- ③ 冷却系統に異常はないか。
- ④ 異常振動、異常音はないか。
- ⑤ 異常過熱、変色はないか。
- ⑥ 異臭はないか。

・運転中に、テスタ等を用いてインバータの入力電圧をチェックします。

- ① 電源電圧変動が、頻発にないか。
- ② 線間電圧バランスは、平衡か。

### 5.1.2 清掃

・インバータは、常に清潔な状態で運転してください。

・清掃時には、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、汚れた部分を軽くふき取ってください。

注. アセトン、ベンゼン、トルエン、アルコールなどの溶剤は、インバータの表面の溶解や塗装のはがれの原因になりますので、使用しないでください。

デジタルオペレータの表示部などは、洗剤やアルコールを嫌いますので、これらで清掃しないでください。

### 5.1.3 定期点検

・運転を停止しないと点検できない箇所や、定期点検を要する箇所をチェックします。

定期点検は、弊社までご相談ください。

- ① 冷却系統に異常はないか。・・・エアフィルタなどの清掃。
- ② 締付けチェックと増し締め。・・・振動、温度変化などの影響で、ネジ、ボルトなどの締付け部が緩むことがありますので、よく確認の上実施してください。
- ③ 導体、絶縁物に腐食、破損はないか。
- ④ 絶縁抵抗の測定。
- ⑤ 冷却ファン、平滑コンデンサ、リレーのチェックと交換。

## 5.2 日常点検および定期点検

点検箇所	点検項目	点検事項	点検周期			点検方法	判定基準	計器
			日常	1年	2年			
全般	周囲環境	周囲温度、湿度、じんあいなどを確認。	○			2.1 掲付けを参照してください。	周囲温度-10℃～40℃凍結のないこと。周囲湿度90%以下結露のないこと。	温度計 湿度計 記録計
	装置全般	異常振動、異常音はないか。	○			目視・聴覚による。	異常がないこと。	
	電源電圧	主回路電圧は正常か。	○			インバータ端子台R,S,T相間電圧測定	交流電圧許容変動内	テスタ、デジタルマルチメータ
主回路	全般	(1)メガーチェック [主回路端子と接地端子間] (2)締付部の緩みはないか (3)各部品に過熱あとはないか。		○	○	(1)インバータ内部にあるコネクタJ61を外し更にインバータの主回路端子台の入出力の配線と制御端子台を外した後、端子R,S,T,U,V,W,P,PD,N,RBを短絡した部分とアース端子間をメガーで測定する。 (2)増し締めする。 (3)目視する。	(1)5MΩ以上であること。 (2)(3)異常がないこと。	DC500V級メガー
	接続導体・電線	(1)導体に歪みはないか (2)電線類の被覆の破れはないか。		○	○	(1)(2)目視による。	(1)(2)異常がないこと。	
	端子台	損傷してないか。		○		目視による。	異常がないこと。	
	インバータ部 コンバータ部	各端子間抵抗チェック			○	インバータの接続を外し、端子R,S,T⇔P,N間 U,V,W⇔P,N間をテスタ×1Ωレンジで測定する。	5.5 インバータ、コンバータ部のチェック方法を参照してください。 インバータ部交換目安時、起動/停止：10 <sup>5</sup> サイクル。	アナログ式テスタ
	平滑コンデンサ	(1)液漏れはないか。 (2)ヘソ(安全弁)は出ていないか、膨らみはないか。	○	○		(1),(2)目視による。	(1),(2)異常がないこと。 標準交換年数：5年 注1)	容量計
	リレー	(1)動作時にビビリ音はないか。 (2)接点に荒れはないか。		○	○	(1)聴覚による。 (2)目視による。	(1)異常がないこと。 (2)異常がないこと。	
	抵抗器	(1)抵抗絶縁物のワレ、変色はないか。 (2)断線有無の確認。		○	○	(1)目視による。セメント抵抗、巻線形抵抗類。 (2)片側の接続を外し、テスターで測定。	(1)異常がないこと。 (2)表示抵抗値の±10%以内の誤差であること。	テスタ、デジタルマルチメータ
制御回路 保護回路	動作チェック	(1)インバータ単体運転にて、各相間出力電圧のバランスの確認。 (2)シーケンス保護動作試験を行い、保護及び表示回路に異常のないこと。		○	○	(1)インバータ出力端子U,V,W相間電圧を測定。 (2)インバータの保護回路出力を模擬的に、短絡または開放する。	(1)相間電圧バランス200V/400V級は4V/8V以内。 (2)シーケンス上、異常が作動すること。	デジタルマルチメータ、整流形電圧計
冷却系統	冷却ファン	(1)異常振動、異常音はないか。 (2)接続部の緩みはないか。	○	○		(1)無通電状態で手で回す。 (2)目視による。	(1)スムーズに回転すること。 (2)異常がないこと。 標準交換年数：2～3年	
表示	表示	(1)LEDランプの切れはないか。 (2)清掃。	○	○		(1)ランプはオペレータ上のランプを確認。 (2)ウエスで清掃。	(1)点灯を確認する。	
	メータ	指示値は正常か。	○	○		盤面メータ類の指示値確認。	規定値、管理値を満足すること。	電圧計、電流計など
モートル	全般	(1)異常振動、異常音はないか。 (2)異臭はないか。	○	○		(1)聴覚、体感、目視による。 (2)過熱、損傷等による異臭確認。	(1)(2)異常がないこと。	
	絶縁抵抗	(1)メガーチェック (端子一括接地端子)			○	U,V,Wの接続を外し、モータ配線を含んで測定。	(1)5MΩ以上であること。	DC 500V級メガー

注1) コンデンサの寿命は、周囲温度に影響されます。

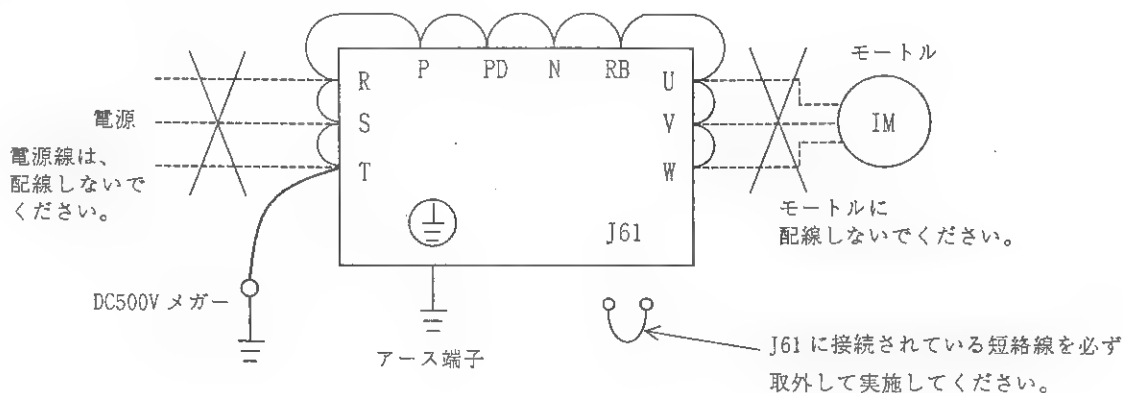
「5.6 コンデンサ寿命カーブ」を参照し、交換の目安としてください。

### 5.3 メガーテスト

- ・外部回路のメガーテストを行う時は、インバータの全端子をはずして、インバータにテスト電圧が加わらないように実施してください。
- ・制御回路の通電テストにはテスタ（高抵抗用レンジ）を使用し、メガーやブザーを使用しないでください。
- ・インバータ自体のメガーテストは主回路のみ実施し、制御回路にはメガーテストを行わないでください。
- ・メガーテストには、DC500V メガーを使用してください。
- ・主回路のメガーテストは、コネクタ J61 に接続されている短絡線（コネクタ）を取外し、R, S, T, PD, P, N, RB, U, V, W の各端子を下図のように電線で短絡してから、実施してください。

メガーテスト後は、R, S, T, PD, P, N, RB, U, V, W の各端子を短絡した電線を取り外し、さらにコネクタ J61 に短絡線（コネクタ）を元通りに接続してください。

なお、RB 端子を装備しているのは 15kW 以下のみです。



### 5.4 耐圧テスト

- ・耐圧テストは行わないでください。
- インバータ主回路は、半導体を使用していますので耐圧テストを行うと、半導体が劣化する可能性があります。

小型空気圧縮機

## 日立オイルフリーベビコン®

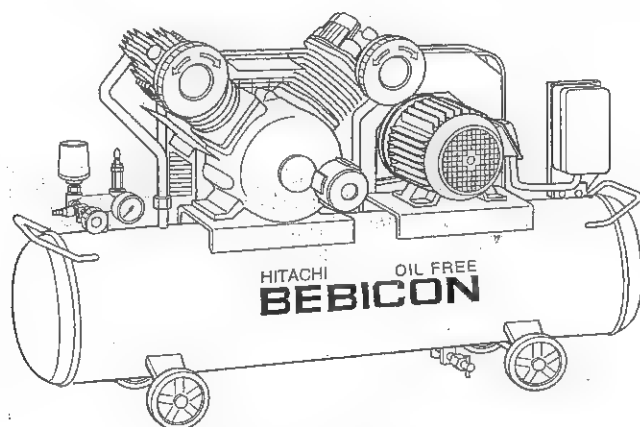
### 型 式

#### 自動アンロード式

1.50U-9.5G5/6  
2.20U-9.5G5/6  
3.70U-9.5G5/6  
5.50U-9.5G5/6  
7.50U-8.5GA5/6  
110U-8.5GA5/6

#### 圧力開閉器式

0.75OP-9.5GS5/6  
0.75OP-9.5G5/6  
1.50P-9.5G5/6  
2.20P-9.5G5/6  
3.70P-9.5G5/6  
5.50P-9.5G5/6  
7.50P-8.5GA5/6  
110P-8.5GA5/6



#### 圧力単位について

本取扱説明書の圧力単位は「MPa(メガパスカル)」表示です。  
従来単位「kgf/cm<sup>2</sup>」との換算は下表の通りです。

圧力単位	MPa	0.69	0.78	0.83	0.85	0.93
	Kgf/cm <sup>2</sup>	7.0	8.0	8.5	8.7	9.5

(換算率は 1 kgf/cm<sup>2</sup>≒0.0980665MPaです。)

このたびは日立のオイルフリーベビコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

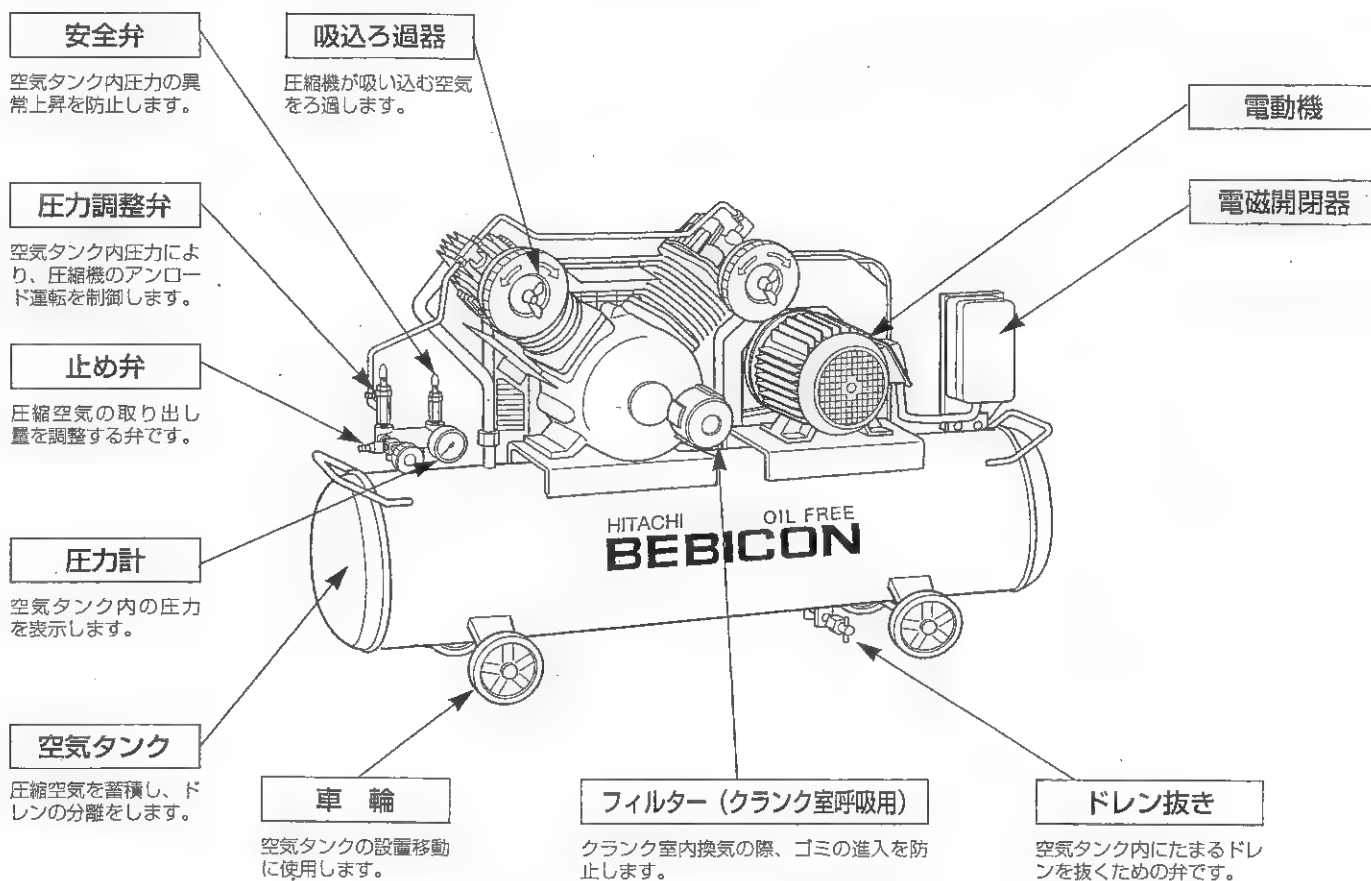
ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよく読み、その内容に沿って正しくご使用ください。

なお、この「取扱説明書」は、自動アンロード式、圧力開閉器式を併記しています。本書中の要領図は圧力開閉器式2.20P-9.5G5/6を代表例として編集しておりますので、あらかじめご了承ください。

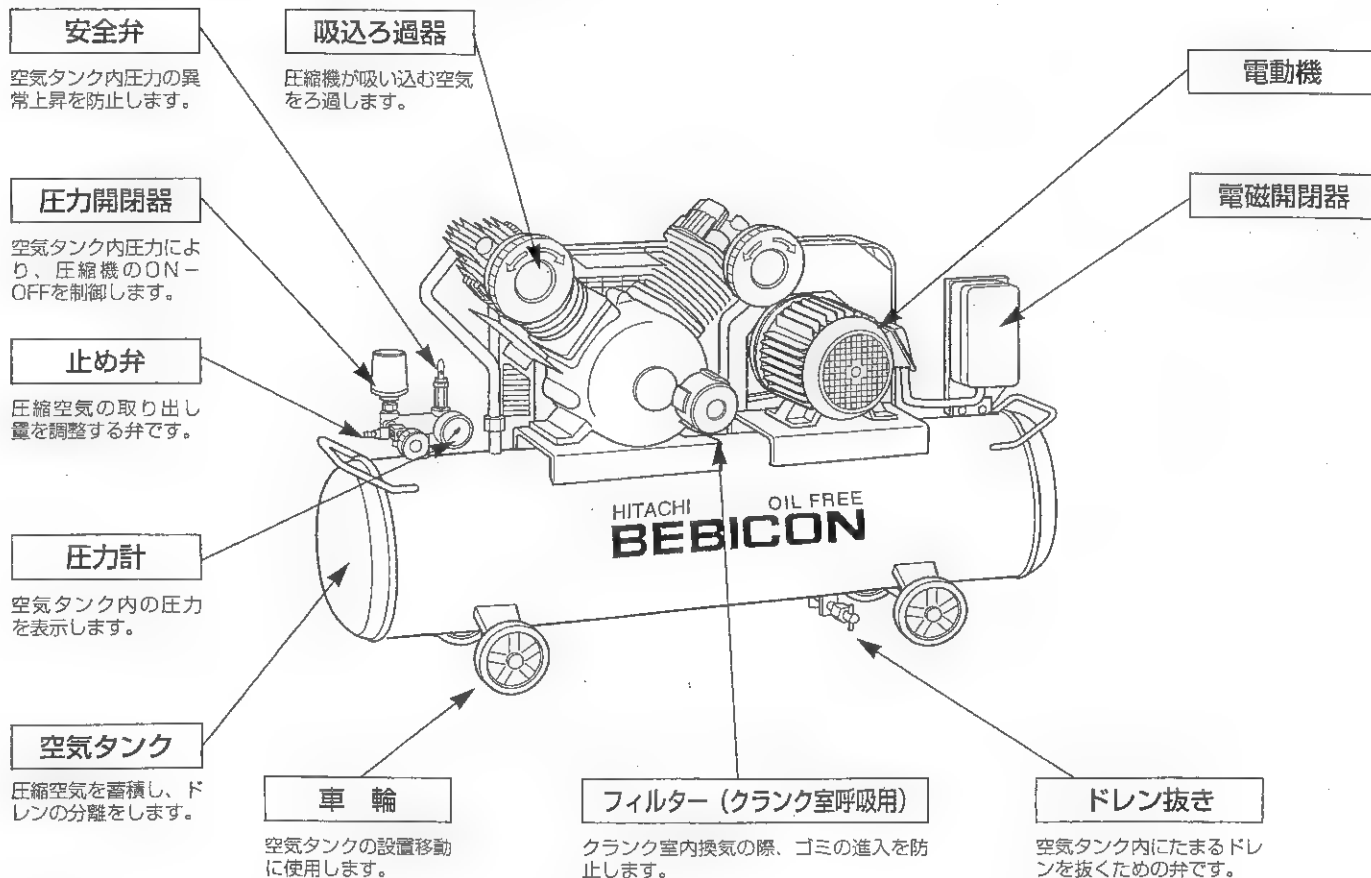
**この「取扱説明書」を読み、大切に保存してください。**

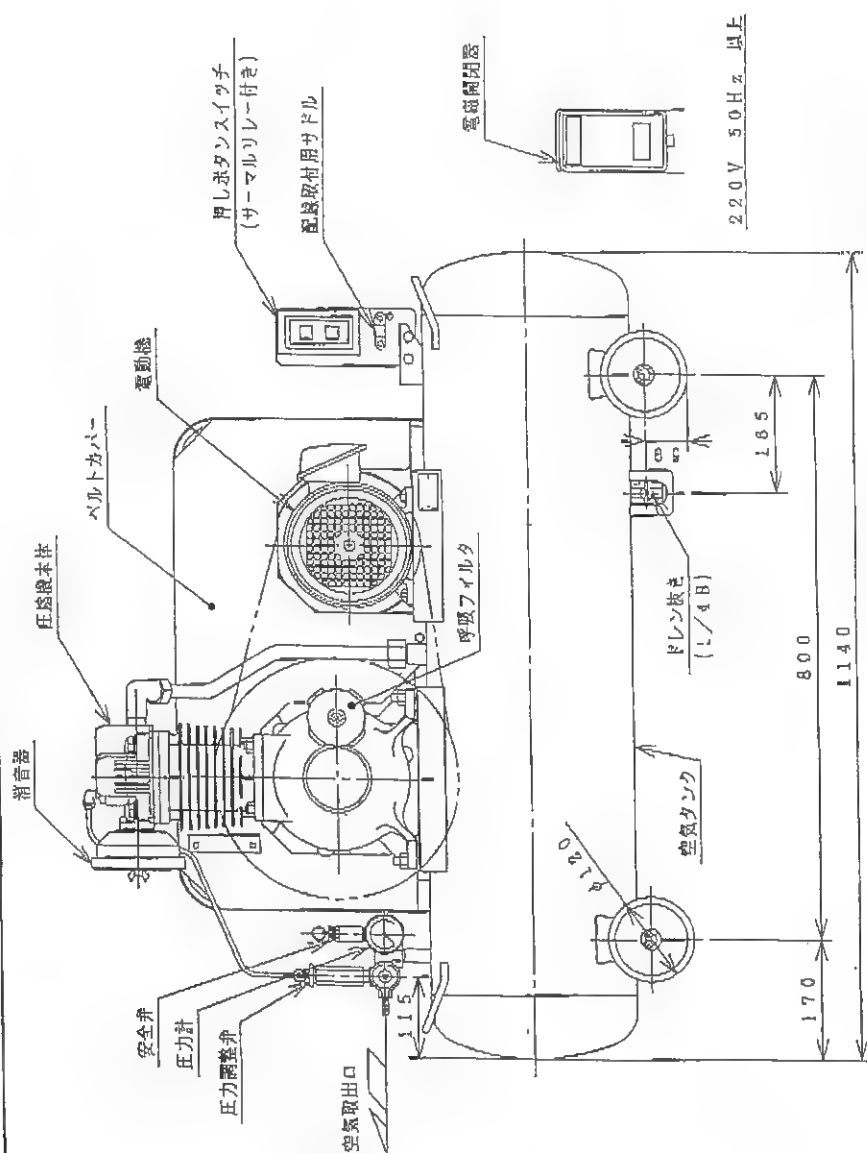
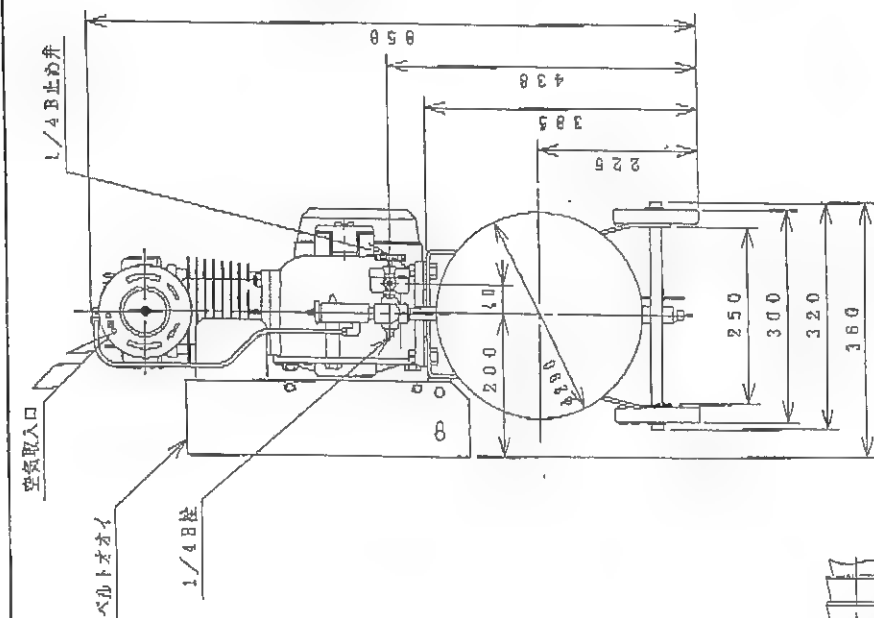
# 各部の名称とはたらき

## 例) 自動アンロード式 2.20U-9.5G5/6



## 例) 圧力開閉器式 2.20P-9.5G5/6





220V 50Hz HF

注1) 買取価格を総く電気品および圧縮機本体は防塵仕様になっていません。

2) 外装塗装色のマンセルNo. は近似値を示します。

3 |  我の仕族は歴々皇朝王族のものです。

1/4日ホ-ス選手

**先端部詳細**

$$(S=1:1)$$

適用	区分	マシセルHα.
	標準品	7.5GV 5/2
	指定色	

[illegible]

正シリンダ内径×行程×数	B 2mm×60mm×1	型式	三相750-K
總額河圧力	MPa	電圧 (50/60Hz)	200/200-220
戻回転速度	min <sup>-1</sup>	出力	1.5kW
吐出空気量	l/min	回転速度 (50/60Hz) min <sup>-1</sup>	1430/1780-1720
本体Vベルト (50/60Hz)	B-80Q×1/B-58×1	駆動	4
空直徑	mm	定格電流 (50/60Hz) A	7.0/8.3-6.0
全長	mm	起動電流 (50/60Hz) A	30.5/34.0-37.5
全容積	l	ブレーカ容量	15
質量	kg	騒音値 (正面1.5m) dB [A]	71
質量	kg	品質	90

株式会社 日立産機システム

7K-289723

1.5kW オイルフリー-ペビコン  
1.50U-9.5G5/6



# 保守・点検

オイルフリーベピコンを良い状態で永くご使用いただくために、日常の手入れが大切です。下記一覧表の時期で点検、整備を実施してください。故障、不具合の発生した場合は、購入先、サービスステーションにご連絡ください。

点検項目	要領・処理	点検整備時間				備考
		日常 (毎日)	250 時間ごと	3,000 時間ごと	10,000 時間ごと	
			1か月ごと	1年ごと	3年ごと	
ドレン抜き	1日の作業が終わりましたら、空気タンク内のドレンを抜く	○				P11参照
異常振動・異常音	異常がある場合は、設置方法・鉄板などの点検	○				P11参照
圧力計・圧力調整弁 圧力開閉器・安全弁の作動	作動状態の確認	○				P11参照
ボルト・ねじ・ナットの緩み	正規のスパン・ねじ回しにて完全に締め付ける		○			
ベルトの伸び・いたみ	いたんだベルトは交換、伸びている場合は電動機をスライドさせる		○			P12参照
吸込ろ過器・クランク室呼吸フィルターの汚れ、目詰まり	ブラシなどで清掃後エア吹き		○	●		P12参照
総合分解点検	空気弁の洩れ			○	●	圧力降下が規定以上の場合は空気弁点検、異常があれば交換
	ピストンリング			○	●	限界摩耗に達した場合セットで交換(P13参照)
	ライダーリング			○	●	
	軸受			○	●	異常がある場合は購入先または、最寄りのサービスステーションで修理
	針状コロ軸受			○	●	
	ピストンピン			○	●	要すれば交換
	アンローダピストン			○	●	要すれば交換
	シリンダ			○	○	要すれば交換
	空気タンクの点検			○	○	法規により1年1度以上点検し、記録を3年間保管の義務

- 印は運転開始後あるいは部品交換後からの点検時間、●は部品交換時間。
- 点検整備は運転時間または年数のうちどちらか早く達した時点で行ってください。
- 部品の点検整備は購入先または最寄りのサービスステーションに依頼してください。

## 警告

- 点検、整備を実施しないで運転を継続した場合、重大な事故（破損）に至る場合がありますので、必ず点検、整備を行ってください。
- 保守点検を行う場合は元電源を切り、空気タンク内の圧縮空気を完全に抜いてから行ってください。

## 注意

表にあげた点検整備時期は標準的な使用の場合です。使用状態（温度、湿度など）により、上記点検時間は多少異なりますので、使用状態が過酷な場合は点検間隔を短くしてください。

# 日立減圧弁取扱説明書

R-5F

R-6F

R-40F

R-60F

## 圧力単位について

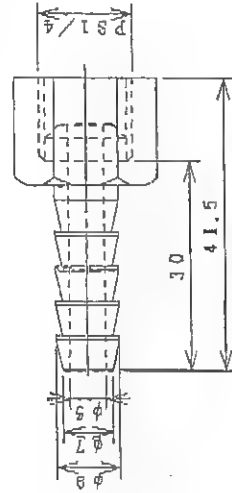
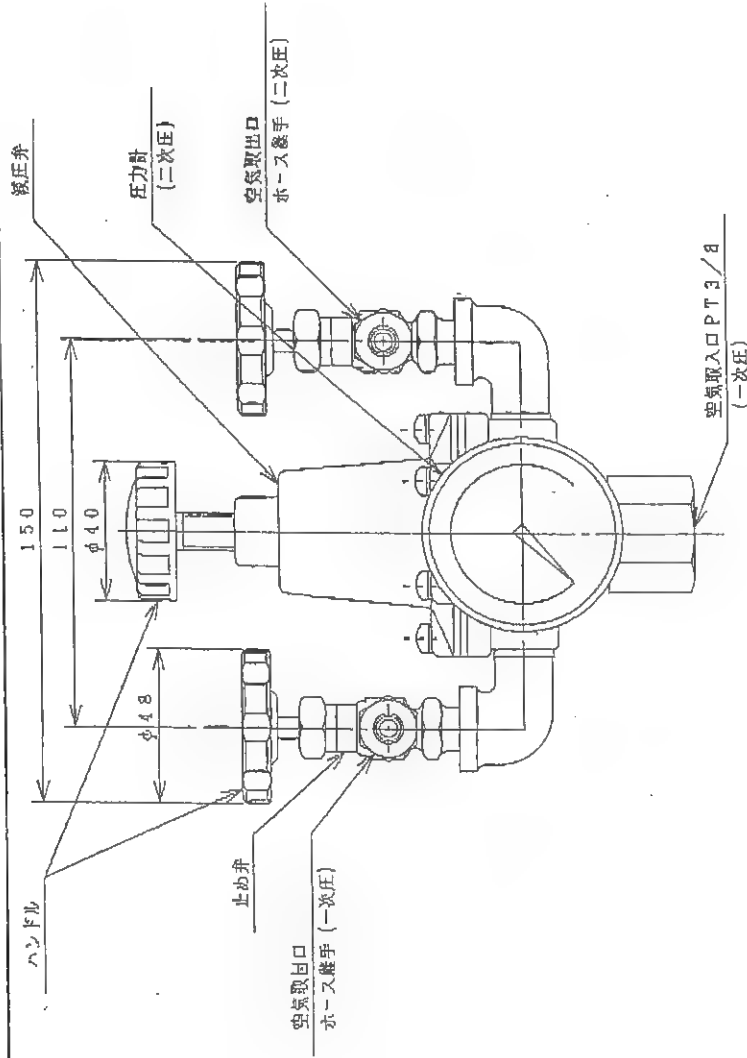
本取扱説明書の圧力単位は『MPa (メガパスカル)』表示です。  
従来単位『kgf/cm<sup>2</sup>』との換算は下表の通りです。

圧力単位	kgf/cm <sup>2</sup>	1	3	7	8	15	20
	MPa	0.1	0.29	0.69	0.78	1.47	1.96

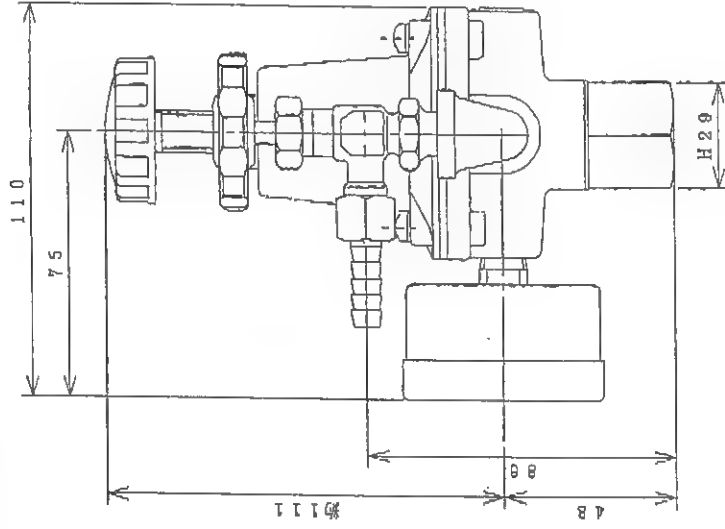
(換算率は 1kgf/cm<sup>2</sup> = 0.0980665 MPaです。)

# HITACHI

受注番号	顧客殿名
------	------



ホース継手詳細図  
(S=1:1)



製図	瀬戸山	04・8・1	尺度	1:2
審査	林田	04・8・1		
承認	坂本	04・8・1		
ガンアツベン R-6P				6K-3341~1

一次圧空気入口径	P T 3 / 8	使用圧力	一次圧	0.20~1.19 [3~13]
二次圧空気出口径	1/4 ホース継手 (φ06 ホース用)		二次圧	1.19~1.21 [13~8]
一次圧空気出口径	1	二次静圧力計	11Pe [kg/cm <sup>2</sup> ]	1.47 [15]
二次圧空気出口径	1	質量	kg	1.2

株式会社 日立産機システム

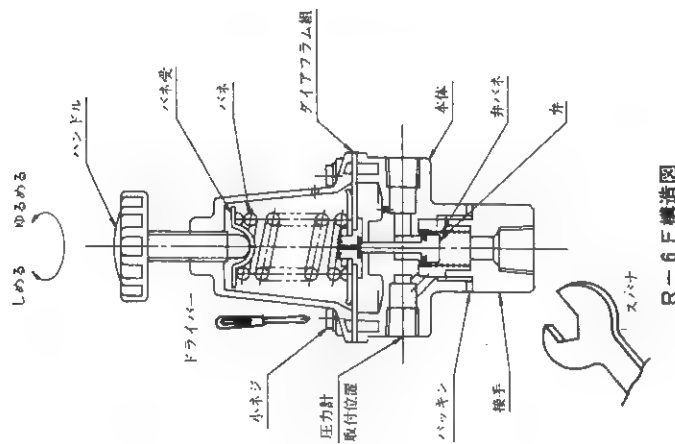
このたびは日立減圧弁をお買い上げいただきありがとうございます。  
減圧弁をお使いになる前にこの説明書をご一読いただき、必要なきにご利用になれるようお手近な所に保管してください。

## 1. 仕様

項目	形式	R-5F	R-6F	R-40F	R-60F
空気出口	一次圧空気出口数	—	1	—	—
	二次圧空気出口数	1			
	一次圧空気出口径	—	PT $\frac{1}{4}$	—	—
	二次圧空気出口径	PT $\frac{1}{4}$	PT $\frac{1}{4}$	PT $\frac{1}{4}$	PT $\frac{1}{4}$
空気入口	径	PT $\frac{1}{4}$	PT $\frac{1}{4}$	PT $\frac{1}{4}$	PT $\frac{1}{4}$
使用圧力	一次圧	0.29~0.78 MPa	0.29~1.47 MPa	0.29~1.96 MPa	—
	二次圧	0.10~0.69 MPa	0.10~0.78 MPa	0.10~1.47 MPa	—
圧力計(二次圧力用)		DAT $\frac{1}{4}$ ×50φ×1.5 MPa	DAT $\frac{1}{4}$ ×50φ×1.5 MPa	DAT $\frac{1}{4}$ ×50φ×2 MPa	—
適用機種		スーパーベピコン	ベピコン	ベピコンおよび中圧ベピコン	—

## 2. 調整方法

- 1) 二次圧を調整するにはハンドルにより圧力計を見ながら行ってください。
- 2) ハンドルを右に回してバネの力を強くすると二次圧は高くなります。しかし、一次圧よりは高くできません。
- 3) ハンドルを左に回しますと、二次圧は次第に低くなり最後は弁は完全に閉じ、一次側より二次側への空気の流れは断たれて、二次圧は0となります。
- 4) 二次側より空気を流さないで調整しますと、空気を流した場合二次圧が調整した値より若干下ります。また二次側より空気を流さずに二次圧を低くする場合、二次側の空気はダイヤフラム組のリーク穴を通して大気へ開放されます。



R-6F構造図

## 3. 分解掃除

### 1) サイクル

3ヶ月に1回程度塵や油かすをきれいに拭き取ってください。

### 2) 手順

R-5F、6F、40F、60Fともほぼ同様の構造ですのでR-6Fについて分解手順を示します。

イ) ベピコンの電源スイッチを切り、圧縮空気を抜く。

ロ) 本体を固定し、スバルで接手を取り外す。(弁バネ、弁、バッキンを取り出します。)

ハ) ハンドルをゆるめてドライバーでネジを取り外す。(バネ受、バネ、ダイヤフラム組を取り出します。)

ニ) 各部のごみや油かすを拭き取る。

ホ) 上記の逆の順序で組み付ける。

# 取扱説明書

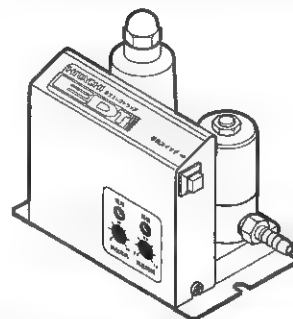
日立電子式オートドレントラップ

## エレク・トラップ

型式：EDT-100(AC100V用)・EDT-200(AC200・220V用)

このたびは日立の電子式オートドレントラップ エレク・トラップをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

# HITACHI



**この「取扱説明書」を読み、大切に保存してください。**

## お願い

○この取扱説明書は、ご使用および保守点検を担当される取扱者の手近な所に保存しておいてください。なお、製品の保証については、下記「保証について」を参照してください。

この取扱説明書の内容をよく読み、取り付け・ご使用・保守点検の実施および安全の情報や注意事項・操作・取り扱い方法などの指示に従い、正しくご使用ください。

○常に、この取扱説明書に記載してある使用範囲を守ってご使用ください。また、正しい保守点検を行い、故障を未然に防止するようお願いいたします。

○この取扱説明書に記載していない操作・取り扱い、日立純正部品以外の交換部品の使用や改造などを行わないでください。機械の故障・人身災害の原因になることがあります。これらに起因する事故については、当社は一切の責任を負いません。

○この取扱説明書でご理解いただけない内容・疑問点・不明確な点がございましたらご購入先または最寄りの日立サービスステーションにお問い合わせください。

○この取扱説明書に記載している内容については、改良などのため将来予告なしに変更することがあります。

○使用不能・故障などが発生した場合は、すみやかに次のことを最寄りの日立サービスステーションにご連絡ください。

●型式・仕様など

●異常内容（異常の発生前後の状態を含め、できるだけ詳細にご連絡ください。）

○この製品は日本国内仕様として製造していますので、海外では使用しないでください。

○この取扱説明書の内容の一部または全部を無断で転載したり、複写しないでください。

## 安全上のご注意

エレク・トラップの使い方を誤ると感電事故・火災事故・破裂事故などを引き起こす場合があります。取り付け・ご使用・保守点検の前にならずこの取扱説明書をよく読み正しくご使用ください。エレク・トラップの知識・安全の情報および注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。警告・注意の表示は危険かつ重要な情報を強調してあります。

### 警告・注意の表示について



#### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



#### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

**重 傷：**感電・けが・やけど（高温・低温）などで後遺症の残るもの、および治療に入院、または長期の通院を要するものを指します。

**傷 害：**治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけどなどを指します。

**物的損害：**財産の破壊、および機器の損傷にかかわる拡大事故を指します。

これら安全上の注意は日立ベビコン、ならびに本製品の安全に関して、より重要な面を補う提案です。お客さまは機器・施設の安全な運転および保守のために各種規定・基準に従って安全施策を確立してください。当社はお客さまがこれらの安全上の注意を無視した結果の責任は負いかねます。

## 保証について

エレク・トラップはこの取扱説明書の注意に従った正常な使用状態で納入後1年以内に故障、または破損した場合に無償で修理いたします。ただし、次のような場合は保証の対象外であり、有償修理扱いとさせていただきます。

- 本取扱説明書に記載された条件を越える過酷環境下（異常電圧・異常温度・粉じんの多い所など）で使用された場合。
- 規定の圧力（最高圧力）以上の圧力で使用された場合。
- 製品、および部品を無断で改造された場合。
- 取扱説明書に記載した注意事項および点検、整備を順守されなかった場合。
- 火災・地震・水害・および盗難などの災害を起因とする故障。
- 消耗品、付属品などの交換をおこたったことに起因する故障または不具合。

※本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償などの二次的損害に対する保証は致しません。

※本保証は、日本国内にて使用される場合に限り適用されます。

CMOL063Z-1

2004.8

## 4.取り付け方法（つづき）

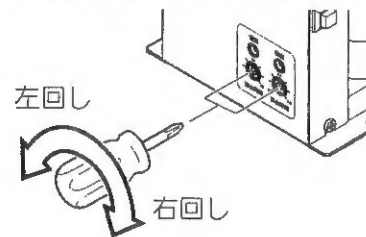
### 4.試運転（つづき）

#### ③排出タイマーの設定

排出時間および間隔は出荷時に ●排出時間—5秒 ●排出間隔—30分 に設定してあります。

空気圧縮機の出力に応じて排出時間調整つまみをプラスドライバーでまわし、排出時間を調整してください。

圧縮機出力	排出時間めやす
2.2kW以下	2.5秒（左回し）
3.7,5.5kW	5.0秒（そのまま）
7.5kW以上	7.5秒（右回し）



調整した排出時間は手動スイッチを押して作動確認してください。手動スイッチを押すと排出ランプが点灯し、設定時間だけ電磁弁が開いてドレンが排出されます（この間電源ランプは消灯します）。ご使用の空気圧縮機の出力に応じて排出時間調整つまみをプラスドライバーでまわし、排出時間の調整をしてください。※周囲温度や季節により、ドレンの発生量は変化しますので定期的に手動スイッチで排出を確認してください。

据え付け後、毎日手動スイッチを押し、作動確認を行ってください。

○ドレンが排出しきる

↓  
正常

×ドレンが排出中に作動が停止する（ドレンが残る）。

↓  
排出時間調整つまみを7.5秒（右一杯）に回して排出時間を長くする。

↓  
×排出時間調整つまみを7.5秒（右一杯）にしてもドレンが排出中に作動が停止する（ドレンが残る）。

↓  
排出間隔調整つまみを左に回して排出間隔を短くする。

## 5.保守・点検

エレクトラップを良好な状態で永くご使用いただくために、下記項目の点検・清掃を実施してください。

#### ○作動確認……………毎日

(1)電源投入時に電磁弁が開くことをご確認ください。その約2.5～7.5秒後、閉じればタイマー基板・電磁弁は正常に作動しています。（圧縮空気排出時間、“カチッ”という電磁弁開閉音の間隔時間、または排出ランプの点灯時間で確認してください。）

(2)手動スイッチを押し、ドレンが溜まっていないこと、または排出ランプの点灯時間を確認してください。

#### ○ストレーナの清掃…3ヶ月毎※（運転時間700時間）

※使用環境・状況で3ヶ月よりも短い間隔でフィルタが目詰まりを起すこともありますので、その場合は早めの清掃をしてください。

清掃手順（P1 “2.各部の名称”を参照）

(1)ドレン入口のボールバルブ①を閉めて手動スイッチを押し、ストレーナ内部の圧力を完全に抜きます。

(2)ストレーナ上部のナット②をはずします。このとき内蔵のバネ③によりストレーナカバー⑦が持ち上がるようになっています。

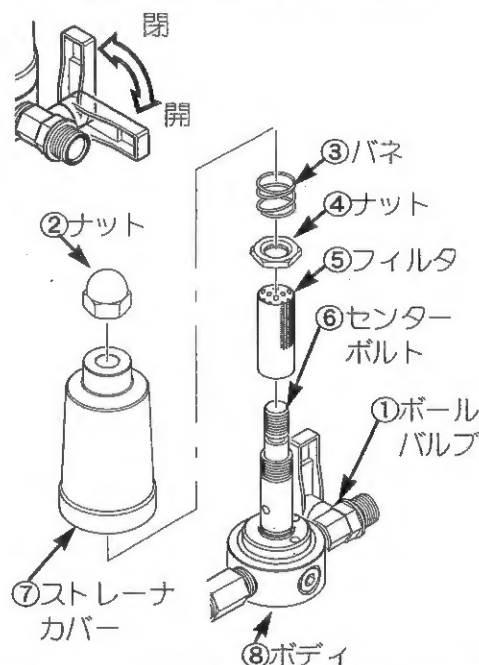
(3)ストレーナカバー⑦、バネ③をはずし、フィルタ⑤を固定しているナット④をはずし、フィルタ⑤を引き抜いてください。

(4)フィルタ⑤を洗浄・エアー吹きなどの方法で清掃してください。

(5)フィルタ⑤を清掃した後、逆の手順で組み付けてください。

その際、フィルタ⑤を固定するナット④は締め付けすぎないようにしてください。締めすぎるとフィルタ⑤が変形します。（目安として指で止まるまで締めた後、スパナで軽く締め付けてください。）

(6)清掃後はボールバルブを開け、手動スイッチを押しドレンまたは圧縮空気が排出されることを確認してください。

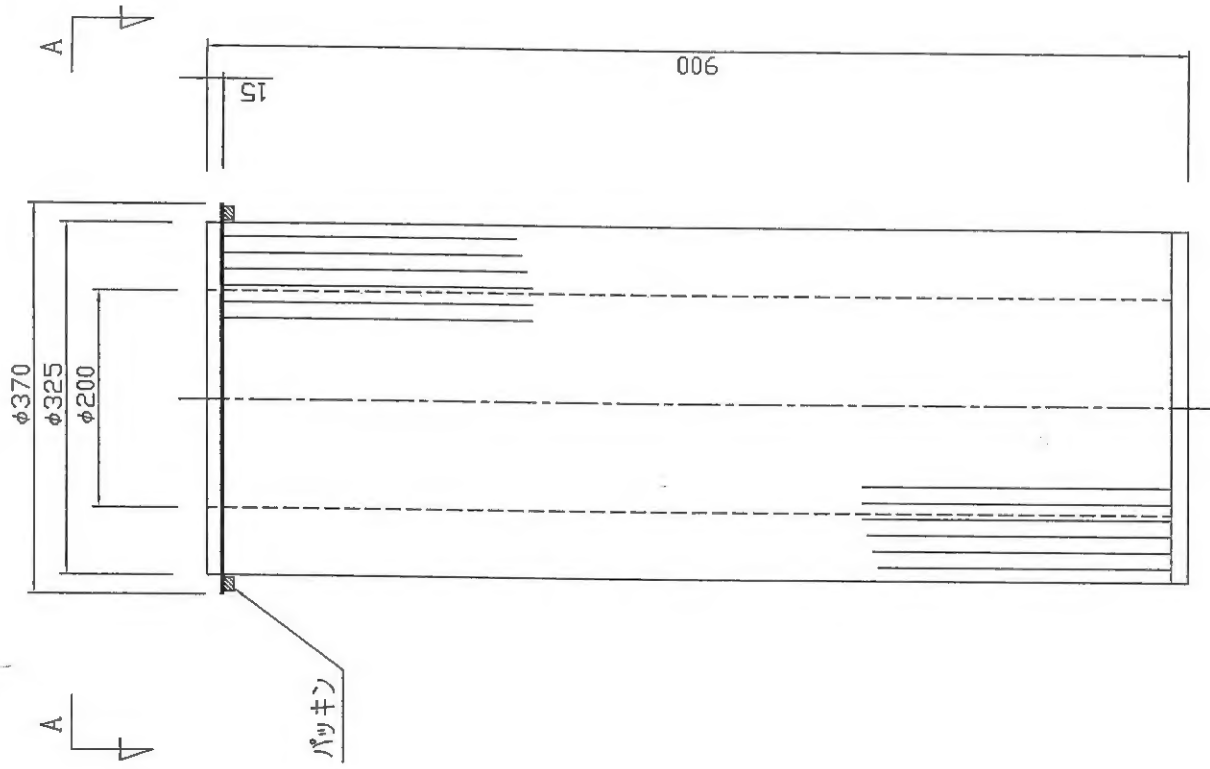
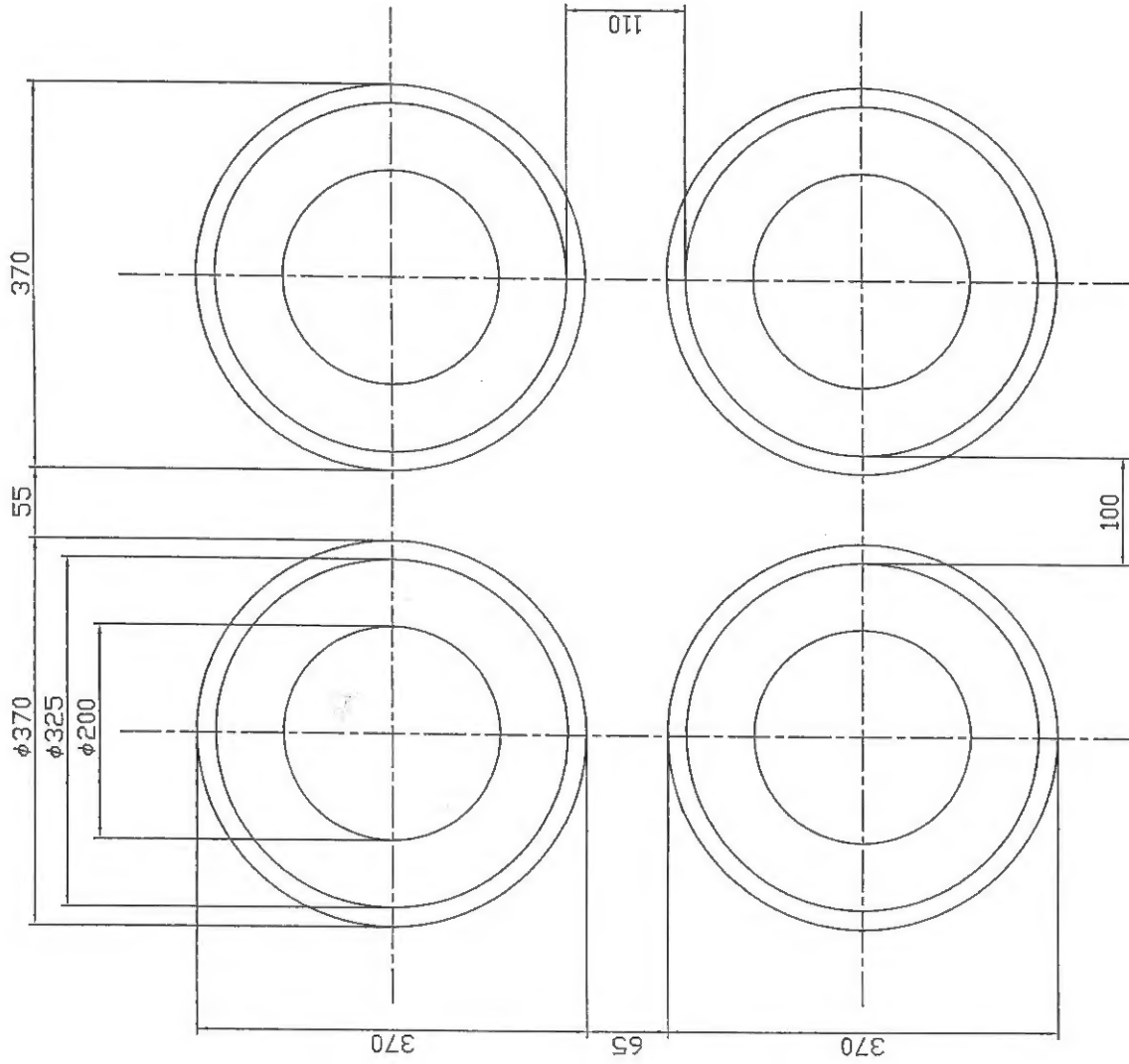


**注意**

清掃前にストレーナ内部の圧縮空気を抜いてください。また、清掃中はボールバルブを開けないでください。噴出による事故のおそれがあります。



A 矢 視 図



SPECIFICATIONS FOR

CUSTOMER

JOB NO.

TITLE

超微細粉塵対策型集塵機  
 プリーツフィルター型

REV. NO. NOTE

DRAWN BY K. TERAO

DESIGNED

SCALE

DATE

荏原機電株式会社

CHECKED

APPROVED

Y. KANDA

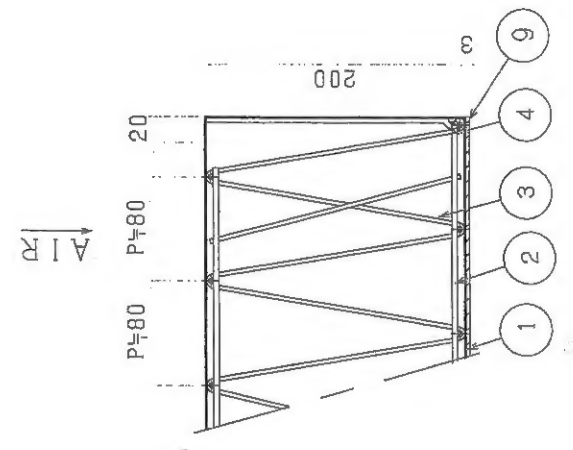
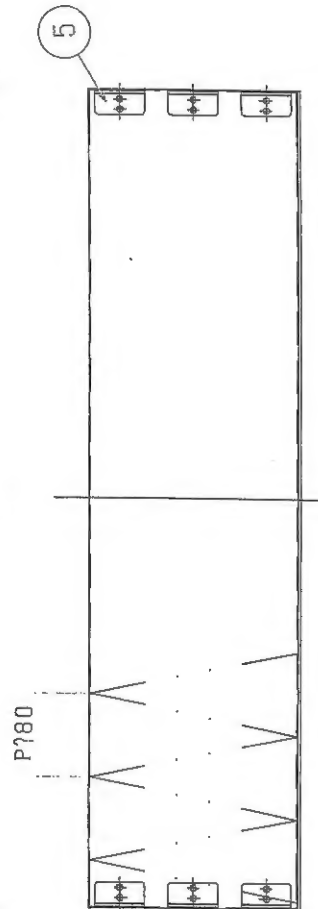
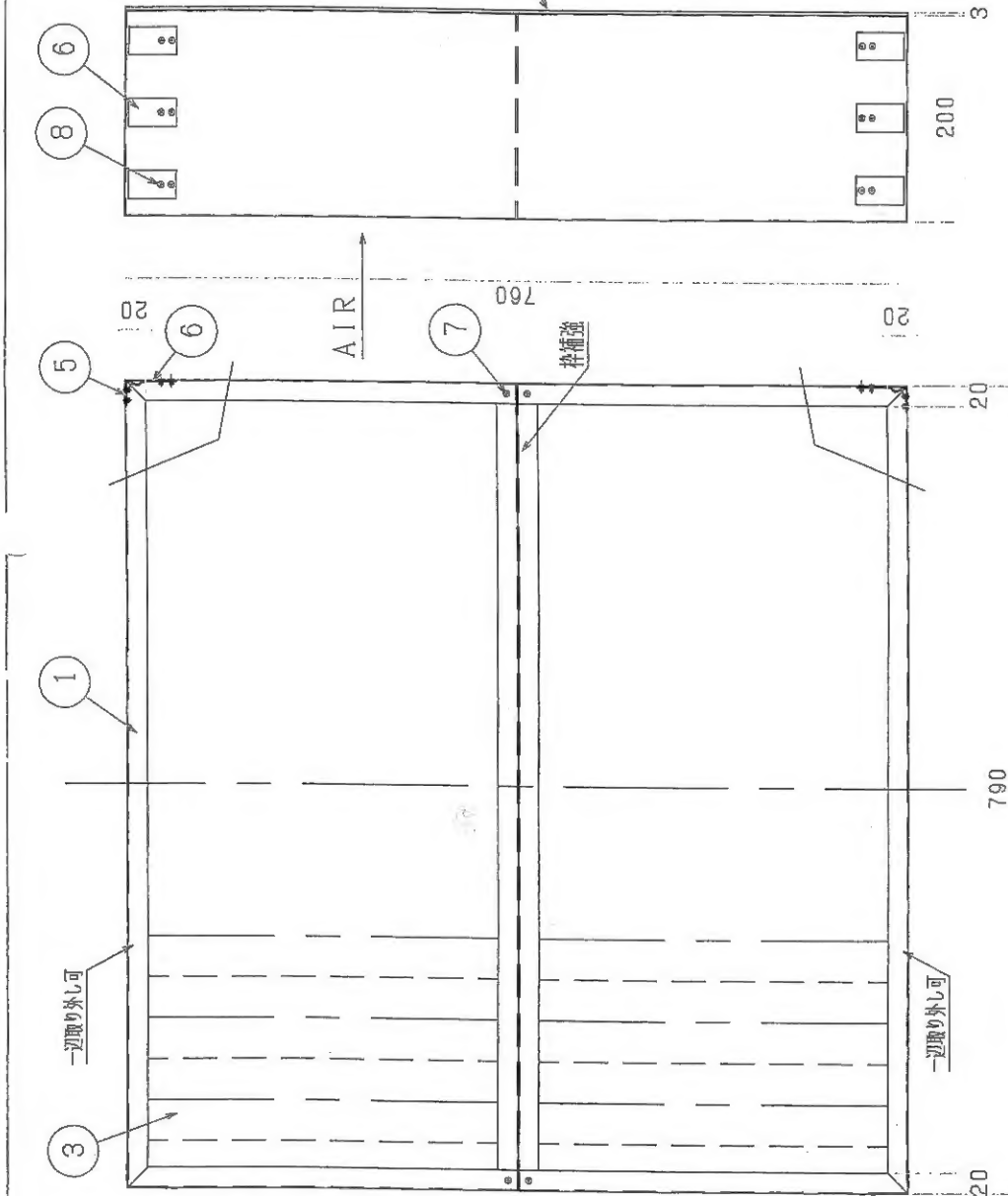
Y. KANDA

06093001

009, NO.



品番	部材名	個数	材質	備考
1	アルミ枠	1式	A5052P-1/2H t1.0	
2	骨組み	2	亜鉛引線 φ4.0スホット溶接仕上	
3	ハ材	2	FN-100PS-10 (-般脱臭)	大阪ガスケミカル製
4	結束線	1式	ナイロン66	TAGピン
5	パネA	12	SUS304 t0.5	パネ鋼
6	パネB	12	SUS304 t0.8	パネ鋼
7	ブラインドリベット	1式	JISA5052 φ3.2X6	枠止め用
8	ブラインドリベット	1式	SUS304 φ3.2X6	パネ止め用
9	パッキン	1式	ネオプレンスポンジ 3tX15W	流出側



790WX760HX200D

進和テック株式会社	ろ材交換型脱臭ロングライフフィルター
<div> <div> </div> <div> ハギモフィルター </div> </div>	物件名 ジオ環境システム
<div> <div>照査</div> <div>作成</div> </div>	図番
2006.10.12	